

## 4. 事前調査結果

### 4.1 水象

調査範囲における水象の状況は、表 4.1-1、表 4.1-2 及び図 4.1-1 に示すとおりである。

調査範囲では、計画地の南側に七北田川水系の二級河川である七北田川及び南貞山運河、計画地の北側に砂押川水系の二級河川である砂押川、砂押貞山運河、旧砂押川、勿来川及び準用河川の原谷地川が流れている。

主な湖沼としては、計画地の北西側に加瀬沼、北東側に阿川沼、南西側に大沼溜池がある。

なお、計画地には河川及び湖沼は存在しない。

また、宮城県では「工業用水法」（昭和 31 年法律第 146 号）及び「宮城県公害防止条例」（昭和 46 年宮城県条例第 12 号）に基づき、規制地域を指定して揚水量の報告、水源転換による揚水削減の指導を行っており、地下水採取の規制地域等は図 4.1-1 (2) に示すとおりである。計画地は「宮城県公害防止条例」に基づく地下水採取規制地域に含まれないが、「工業用水法」に基づく地下水採取規制の指定地域に含まれる。

表 4.1-1 河川の概要

種別		河川名	総延長 (m)
河川	二級河川	砂押川	14,491
		砂押貞山運河	800
		旧砂押川	2,300
		勿来川	7,456
		七北田川	40,899
		南貞山運河	3,599
	準用河川	原谷地川	1,400

〔「宮城県河川・海岸図」（平成 25 年、宮城県）より作成〕

表 4.1-2 湖沼の概要

No.	湖沼等名称	所在地
1	加瀬沼	宮城郡利府町加瀬
2	阿川沼	宮城郡七ヶ浜町菖蒲田浜獅子前
3	大沼溜池	若林区荒井字大沼 24

注) No. は図 4.1-1 の図中番号に対応する。

〔「平成 27 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 28 年、仙台市）  
「宮城県 HP」等より作成〕



凡 例

- 計画地
- 二級河川
- 準用河川
- 主要な湖沼 (1~3)
- その他の湖沼
- 温泉

〔「国土地理情報ダウンロードサービス (河川(宮城))」  
 (平成23年、国土交通省国土政策局国土情報課)  
 「宮城県河川・海岸図」(平成25年、宮城県)  
 「平成27年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」  
 (平成28年、仙台市) 等より作成

注) 図中番号は表4. 1-2のNo.に対応する。

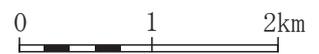
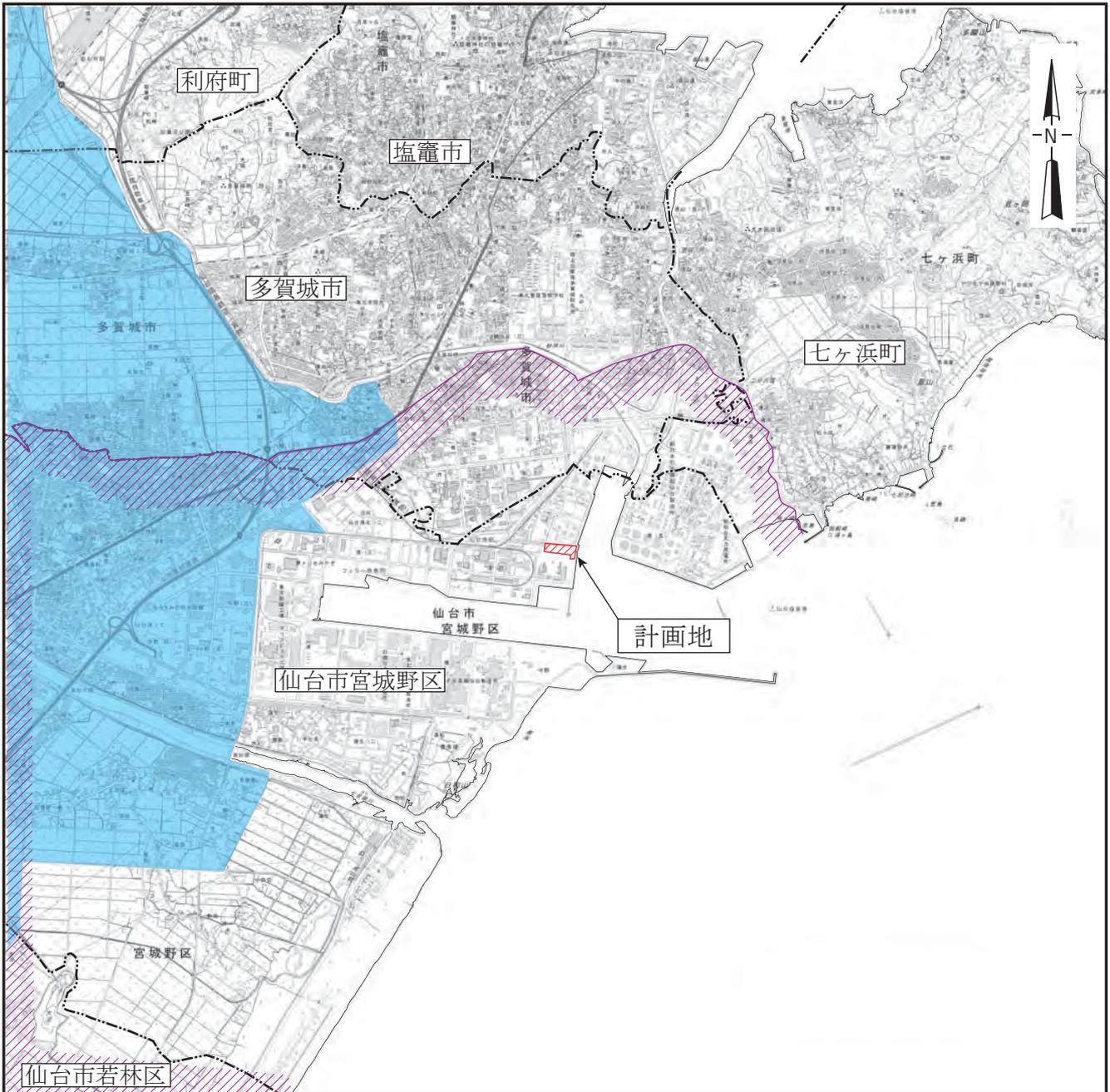


図4. 1-1(1) 水象の状況



〔「平成26年度公害資料（地盤沈下編）」（平成26年、宮城県環境生活部）より作成〕

凡 例

- 計画地
- 地下水採取規制地域
- 工業用水法指定地域

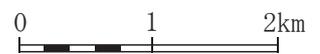


図4.1-1(2) 水象の状況

#### 4.1.1 水源地

調査範囲における上水は、七北田ダム、宮床ダム、釜房等のダム水から取水している。  
調査範囲にこれらの水源はない。

また、調査範囲では、砂押川、勿来川、原谷地川に農業用の堰や揚水機が設置されている。施設の概要は表 4.1-3、位置は図 4.1-2 に示すとおりである。

なお、計画地には水源地は存在しない。

表 4.1-3 農業用水取水施設の概要

設備種類	河川名	施設名	所在地	取水量 (m <sup>3</sup> /秒)		所有者	管理者
				代掻き期	普通期		
堰	砂押川	No.1 多賀城堰	多賀城市八幡字庚田	0.2400	0.0800	多賀城市	多賀城市
		No.2 新田堰	多賀城市八幡	0.4500	0.2500	多賀城市	多賀城市
		No.3 新大友堰	宮城郡利府町字新大友	0.0500	0.0400	利府町	利府町
	勿来川	No.4 赤堰	宮城郡利府町加瀬字窪地内	0.1500	0.1200	利府町	利府町
		No.5 惣の堰	宮城郡利府町加瀬字窪地内	0.0640	0.0450	利府町	利府町
	原谷地川	No.6 横杭堰	宮城郡利府町菅谷	0.0400	0.0300	利府町	利府町
揚水機	砂押川	No.A 庚田揚水機	多賀城市八幡	0.0400	0.0300	多賀城市	宝堰加瀬溜井管理組合

[「農業用水施設台帳（河川取水施設）改訂五版」（平成20年、宮城県農林水産部農村振興課）より作成]



#### 4.1.2 湧水・温泉

調査範囲における温泉の概要は表 4.1-4、位置は図 4.1-1 に示すとおりである。調査範囲における温泉としては、宮城野温泉が存在するが、湧水は存在しない。なお、計画地には湧水・温泉は存在しない。

表 4.1-4 温泉一覧

温泉名	源泉名	所在地
宮城野温泉	コロナ 6 号	仙台市宮城野区福室字田中前

〔「平成 27 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」  
(平成 28 年、仙台市) 等より作成〕

#### 4.1.3 自然度の高い水辺地

自然度の高い水辺地の一覧は表 4.1-6、位置は図 4.1-3 に示すとおりである。

調査範囲における自然度の高い水辺地としては、ヨシクラス（植生自然度 10）やオギ群落（植生自然度 10）、ヒルムシロクラス（植生自然度 10）、塩沼地植生（植生自然度 10）、ヤナギ高木群落（IV）（植生自然度 9）、ヤナギ低木群落（IV）（植生自然度 9）といった自然度の高い植生が分布している。

なお、計画地には自然度の高い水辺地は存在しない。

表 4.1-5 植生自然度の区分基準

植生自然度	区分基準
10	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツ-トドマツ群集、ブナ群集等、自然植生のうち多層の植物社会を形成する地区
8	ブナ・ミズナラ再生林、シイ・カシ萌芽林等、代償植生であっても、特に自然植生に近い地区
7	クリ-ミズナラ群落、クヌギ-コナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の樹林地
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原
3	果樹園、桑畑、茶畑、苗圃等の樹園地
2	畑地、水田等の耕作地。緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

〔「環境省 HP」(平成 28 年 7 月 29 日閲覧) より作成〕

表 4.1-6 自然度の高い水辺地

植生自然度	自然度の高い水辺地
10	ヨシクラス、オギ群落、ヒルムシロクラス、シオクグ群落、砂丘植生、コハマギク群落、塩沼地植生
9	ヤナギ高木群落（IV）、ヤナギ低木群落（IV）

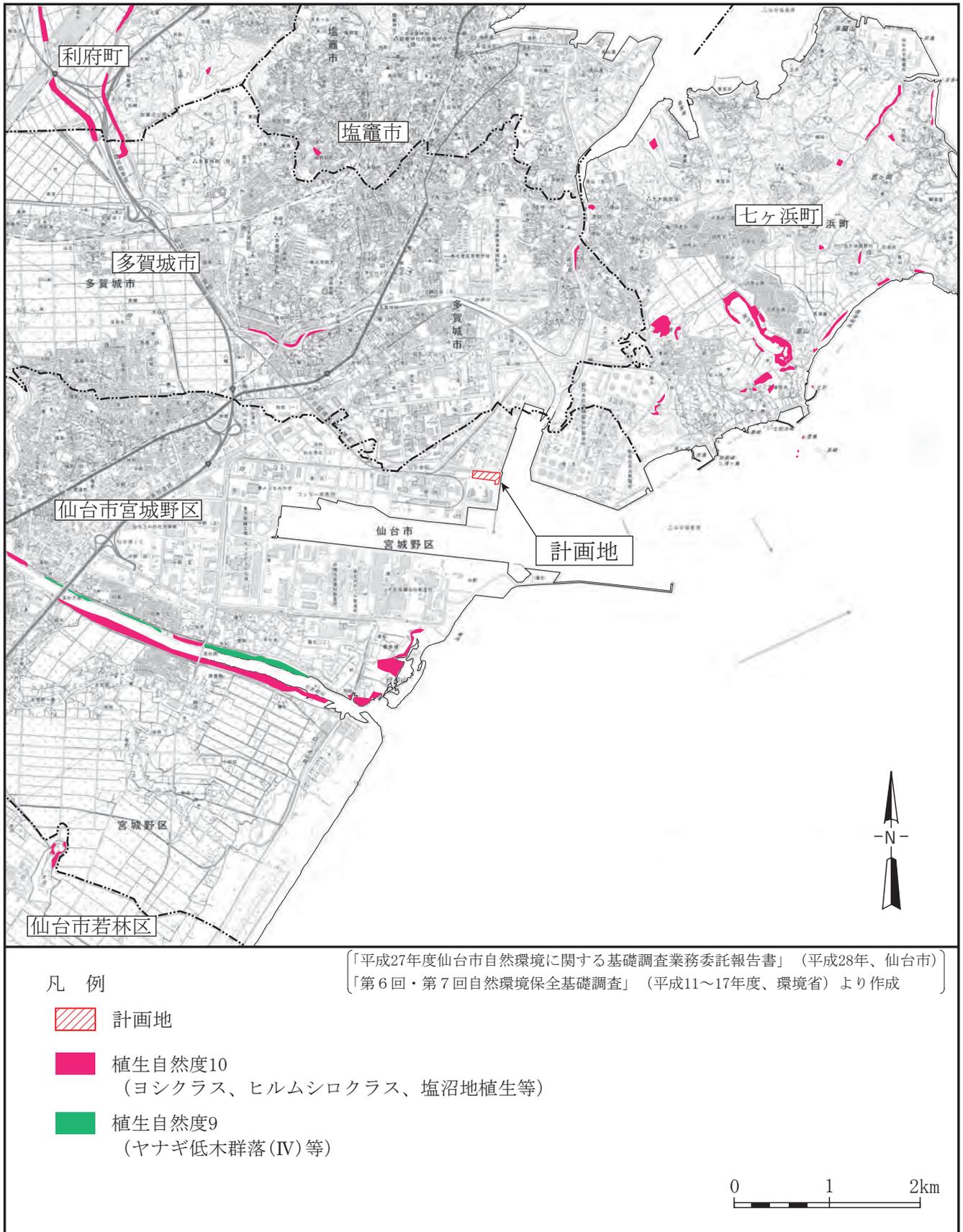


図4.1-3 自然度の高い水辺地位置図

#### 4.1.4 その他事業の立地上配慮を有する水象

計画地の周辺海域は、「港湾法」（昭和 25 年法律第 218 号）に基づく国際拠点港湾仙台塩釜港仙台区及び塩釜港区の港湾区域に指定されており、その位置は図 4.1-4 に示すとおりである。また、計画地の周辺海域には、共同漁業権及び区画漁業権が指定されており、漁業権の内容は表 4.1-7、表 4.1-8、位置は図 4.1-5、図 4.1-6 に示すとおりである。

表 4.1-7 漁業権の内容（共同漁業権）

公示番号		漁業の名称	漁業の時期	免許者
共第 150 号	第 1 種	あさり漁業、あづまにしき漁業、あかにし漁業、かき漁業、えむし漁業、わかめ漁業	1/1～12/31	宮城県漁業共同組合
共第 151 号	第 1 種	あさり漁業、あづまにしき漁業、あかにし漁業、かき漁業、えむし漁業、わかめ漁業	1/1～12/31	宮城県漁業共同組合
共第 152 号	第 1 種	あわび漁業、あさり漁業、うばがい漁業、はまぐり漁業、うに漁業、たこ漁業、しゃこ漁業、わかめ漁業、こんぶ漁業、まつも漁業、あらめ漁業	1/1～12/31	宮城県漁業共同組合
共第 153 号	第 1 種	うばがい漁業、こたまがい漁業、しゃこ漁業	1/1～12/31	宮城県漁業共同組合
共第 155 号	第 1 種	あかがい漁業	1/1～12/31	宮城県漁業共同組合
共第 256 号	第 2 種	しらうお刺網漁業	10/1～翌年 4/30	宮城県漁業共同組合
		はぜ刺網漁業	9/1～12/31	
		雑魚せん漁業	1/1～12/31	
共第 257 号	第 2 種	雑魚小型定置漁業	3/1～10/31	宮城県漁業共同組合
		かれい刺網漁業、	3/1～12/31	
		しらうお刺網漁業、	10/10～翌年 4/30	
		磯刺網漁業	12/1～翌年 4/30	
		雑魚せん漁業	1/1～12/31	
共第 258 号	第 2 種	いわし小型定置漁業	5/1～8/31	宮城県漁業共同組合
		雑魚小型定置漁業	4/1～12/31	
		かに刺網漁業	5/1～12/31	
		かれい刺網漁業	3/1～12/31	
		しらうお刺網漁業	11/1～翌年 4/30	
		雑魚せん漁業	1/1～12/31	
共第 259 号	第 2 種	いわし小型定置漁業	5/1～8/31	宮城県漁業共同組合
		雑魚小型定置漁業	4/1～12/31	
		かに刺網漁業	5/1～12/31	
		かれい刺網漁業、	3/1～12/31	
		しらうお刺網漁業、	11/1～翌年 4/30	
		雑魚せん漁業	1/1～12/31	

注) 存続期間は平成 25 年 9 月 1 日から平成 35 年 8 月 31 日までである。

「定置漁業権、区画漁業権及び共同漁業権の免許」（平成 25 年宮城県告示第 757 号）  
「定置漁業権、区画漁業権及び共同漁業権の免許の内容たるべき事項等」（平成 25 年宮城県告示第 488 号）より作成

表 4.1-8 漁業権の内容（区画漁業権）

公示番号	漁業の名称		漁業の時期	免許者
区第 3320 号	第 1 種	わかめ養殖業、のり養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合 塩竈市漁業協同組合
		こんぶ養殖業	10/1～翌年 8/31	
区第 3401 号	第 1 種	のり養殖業、わかめ養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合
区第 3402 号	第 1 種	のり養殖業、わかめ養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合
区第 3403 号	第 1 種	のり養殖業、わかめ養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合
区第 3404 号	第 1 種	のり養殖業、わかめ養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合
区第 3410 号	第 1 種	のり養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合
区第 3414 号	第 1 種	のり養殖業、わかめ養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合
区第 3415 号	第 1 種	のり養殖業、わかめ養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合
区第 3416 号	第 1 種	のり養殖業、わかめ養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合
区第 3417 号	第 1 種	のり養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合
区第 3420 号	第 1 種	のり養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合
区第 3501 号	第 1 種	のり養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合
区第 3502 号	第 1 種	のり養殖業	9/1～翌年 5/31	宮城県漁業協同組合

注) 区第 3420 号の存続期間は平成 26 年 9 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで、その他の区画漁業権の存続期間は平成 25 年 9 月 1 日から平成 30 年 8 月 31 日までである。

〔「定置漁業権、区画漁業権及び共同漁業権の免許」（平成 25 年宮城県告示第 757 号）  
 「定置漁業権、区画漁業権及び共同漁業権の免許の内容たるべき事項等」（平成 25 年宮城県告示第 488 号）  
 「区画漁業権の免許の内容たるべき事項及び地元地区」（平成 26 年宮城県告示第 654 号）より作成〕



〔「仙台塩釜港港湾計画平面図」(平成28年、宮城県)より作成〕

凡 例

-  計画地
-  港湾区域
-  航 路

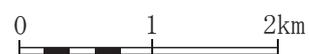


図4.1-4 港湾区域等の位置

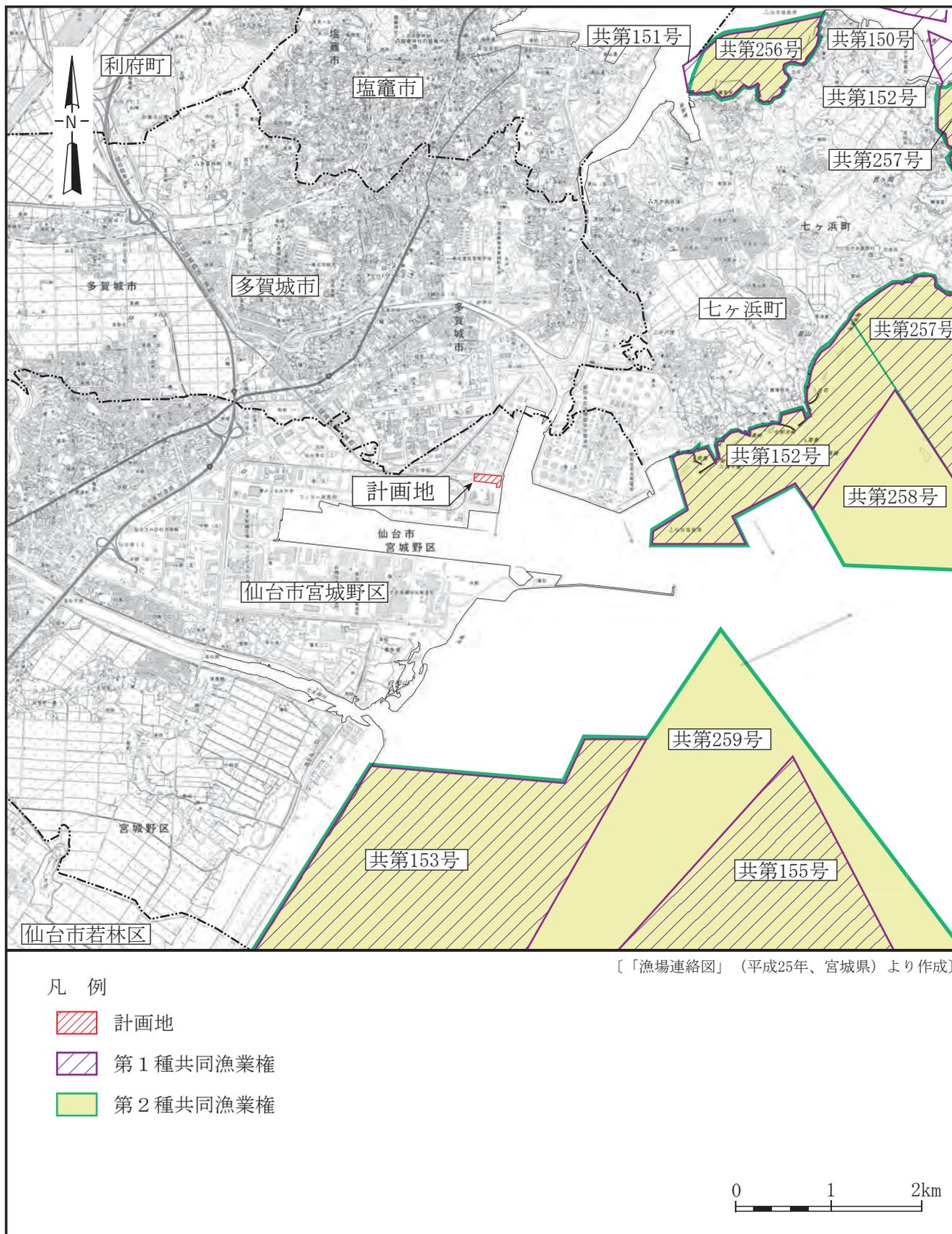


図4.1-5 漁業権の位置 (共同漁業権)



〔「漁場連絡図」(平成25年、宮城県)より作成〕

凡 例

-  計画地
-  第1種区画漁業権

図4.1-6 漁業権の位置(区画漁業権)

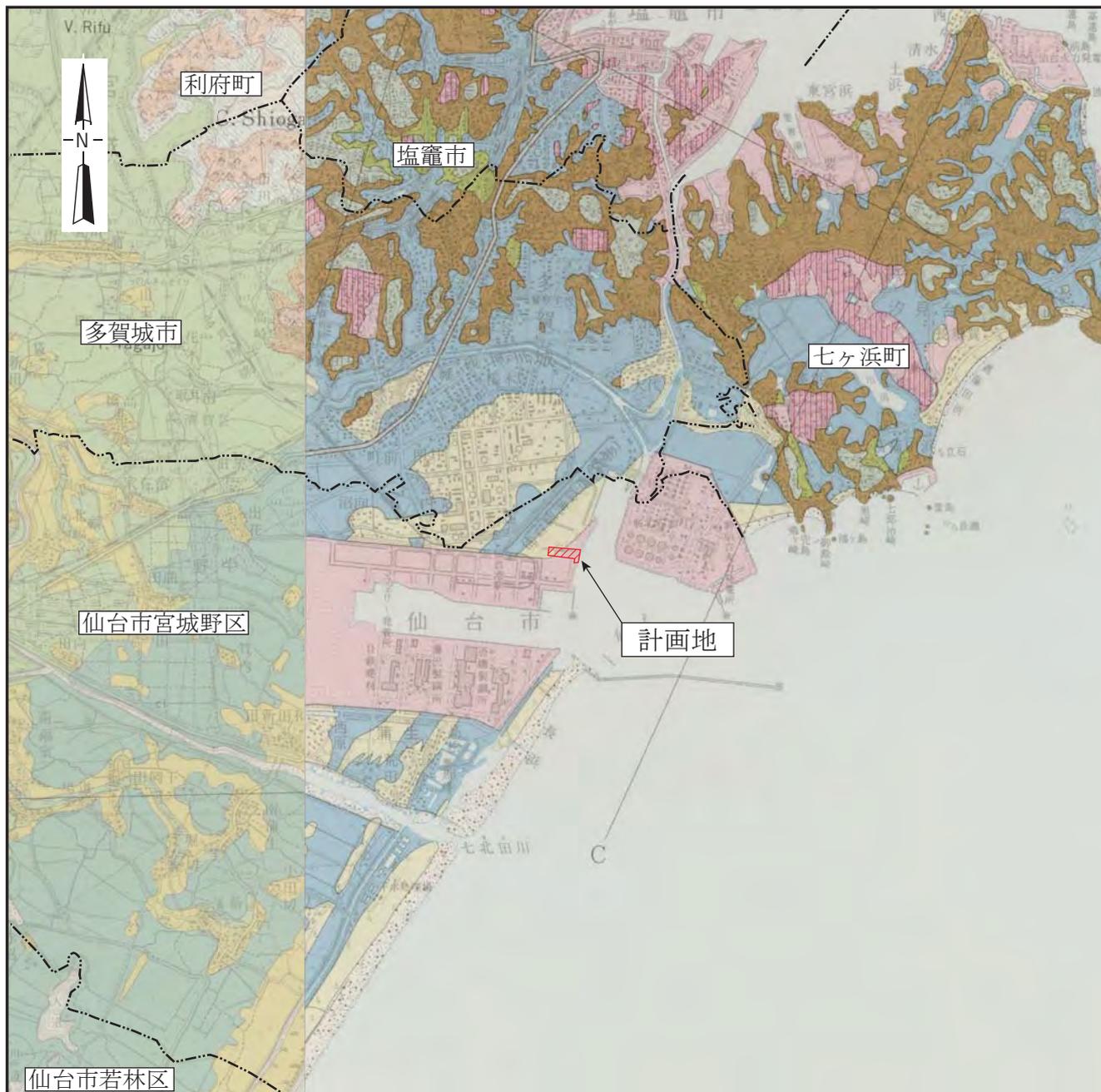
## 4.2 地形・地質

### 4.2.1 地形

調査範囲における地形の状況は、図 4.2-1 に示すとおりである。

調査範囲は、南西部が仙台湾に面した仙台平野であり、後背湿地及び谷底平野と浜堤が分布し、海岸線沿いには砂浜が分布する。北東側の七ヶ浜半島から西側には丘陵地が広がっている。

なお、計画地は埋立造成地に位置し、平坦な地形となっている。



凡 例

 計画地

 市町区界

※凡例は次のページに示す。

「地形分類図（仙台）」（昭和42年3月、経済企画庁）  
 「地形分類図（塩釜）」（昭和59年3月、経済企画庁）等より作成

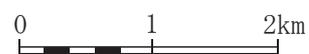
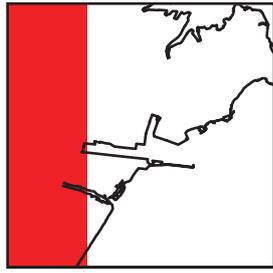
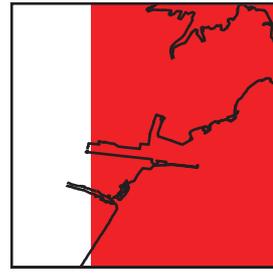


図4. 2-1(1) 地形分類図



凡例 (仙台)



凡例 (塩釜)



〔「地形分類図 (仙台)」 (昭和42年3月、経済企画庁)  
「地形分類図 (塩釜)」 (昭和59年3月、経済企画庁) 等より作成〕

図4. 2-1 (2) 地形分類図

#### 4.2.2 地質

調査範囲における地質の状況は、図 4.2-2 に示すとおりである。

調査範囲の平野部には、半固結堆積物、未固結堆積物の礫、砂、泥等が広く分布する。丘陵地は表層には固結堆積物の礫岩、砂岩、シルト岩等が分布し、一部、火山性堆積物が露出している。

なお、計画地は未固結堆積物の礫・砂・泥の分布域にある。



凡 例

 計画地

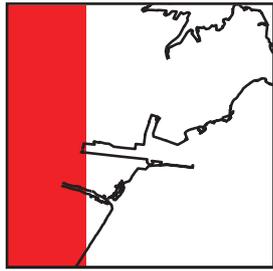
 市町区界

※凡例は次のページに示す。

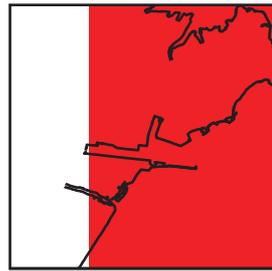
〔「表層地質図（仙台）」（昭和42年3月、経済企画庁）  
 「表層地質図（塩釜）」（昭和59年3月、経済企画庁）等より作成〕

0 1 2km

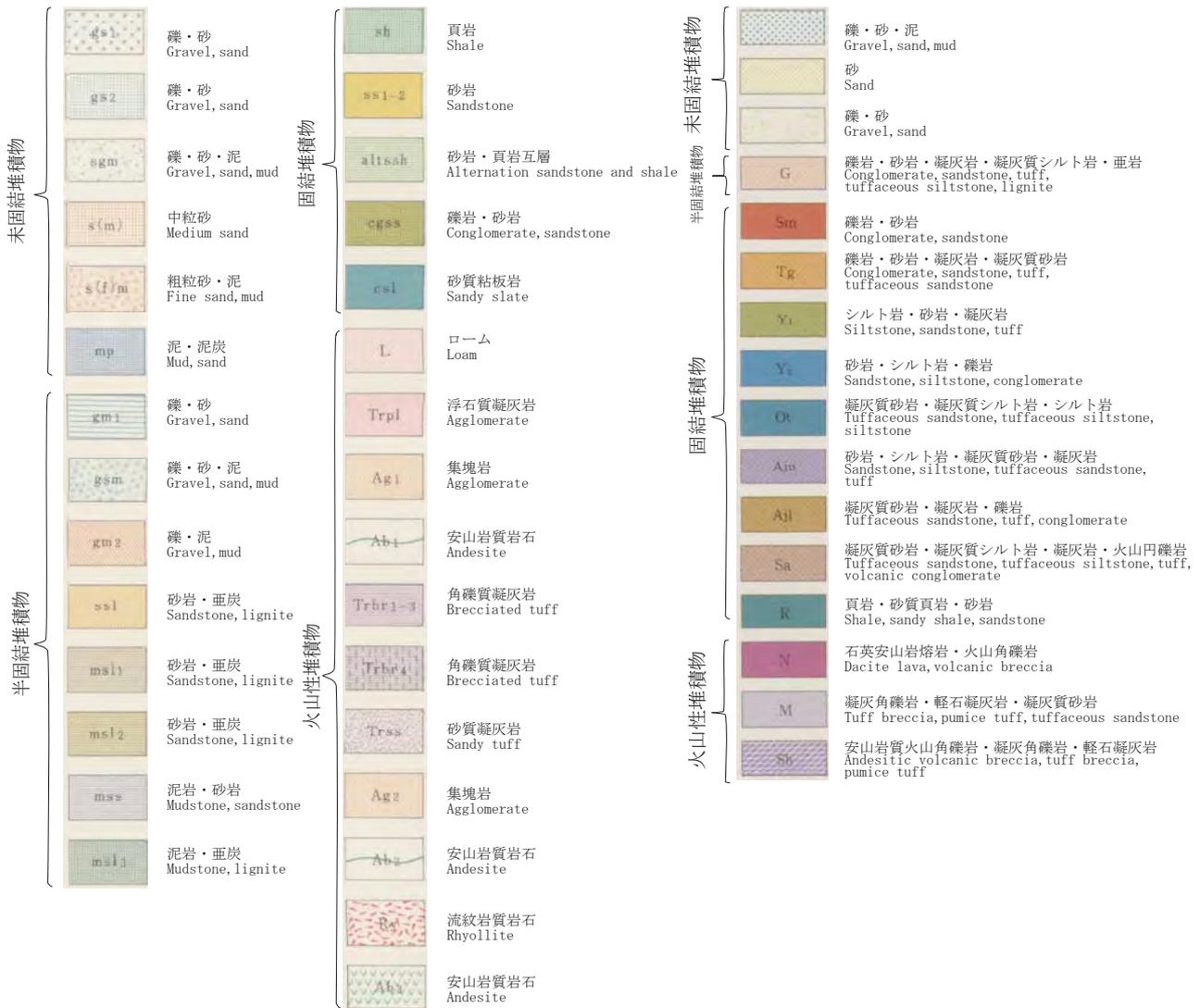
図4.2-2(1) 表層地質図



凡例 (仙台)



凡例 (塩釜)



〔「表層地質図 (仙台)」 (昭和42年3月、経済企画庁)  
「表層地質図 (塩釜)」 (昭和59年3月、経済企画庁) 等より作成〕

図4. 2-2(2) 表層地質図

#### 4.2.3 注目すべき地形・地質

調査範囲における注目すべき地形・地質の状況は、表 4.2-1、位置は図 4.2-3 に示すとおりである。

表 4.2-1 注目すべき地形・地質

No.	名称	概要
1	松島浦	多島海
2	蒲生干潟	干潟
3	井土浦・名取川河口・七北田川河口等	潟湖、河口干潟、運河等を伴う砂浜海岸。 植生的にも鳥類の生息地としても重要である。

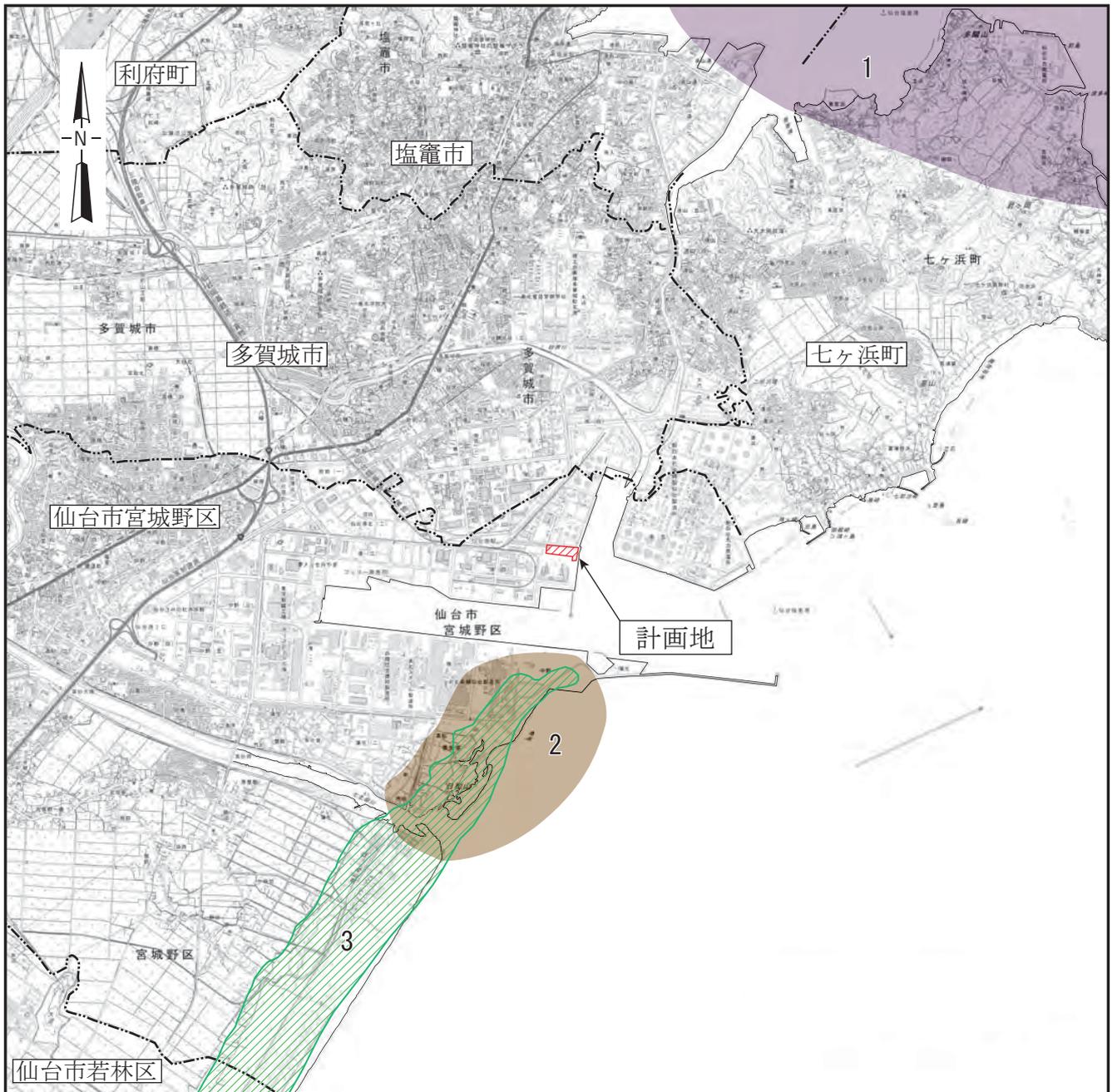
注) No. は図 4.2-3 の図中番号に対応する。

〔「日本の典型地形 都道府県別一覧」(平成 11 年、国土地理院)  
「日本の地形レッドデータブック第 1 集」(平成 12 年、小泉武栄 他)  
「平成 22 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年、仙台市)  
より作成

〕

#### 4.2.4 大規模な造成を要する斜面地等

調査範囲における地形の状況は、図 4.2-1 及び図 4.2-4 (1) に示すとおりであり、「急斜面」は調査範囲に分布しないが、計画地の北部の多賀城市、北西部の塩竈市、七ヶ浜町の一部には、急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域が分布している。



凡 例

 計画地

- 1 松島浦
- 2 蒲生干潟
- 3 井土浦・名取川河口・七北田川河口など

〔「日本の典型地形 都道府県別一覧」(平成11年、国土地理院)  
 「日本の地形レッドデータブック第1集」(平成12年、小泉武栄 他)  
 「平成22年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」  
 (平成23年、仙台市) 等より作成

注) 図中番号は表4.2-1のNo. に対応する。

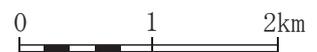


図4.2-3 注目すべき地形・地質位置図

#### 4.2.5 災害の危険箇所

調査範囲における災害の危険箇所の概要は表 4.2-2、位置は図 4.2-4 に示すとおりである。

調査範囲には急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律に基づく急傾斜地崩壊危険区域が存在する。砂防法に基づく砂防指定地、地すべり等防止法に基づく地すべり等防止区域は存在しない。また、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づく土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域が多賀城市、塩竈市、七ヶ浜町の丘陵部で指定されている。

また、調査範囲には、国土交通省の調査・点検要領に基づき、土砂災害の危険性のある箇所を宮城県が抽出した土砂災害危険箇所（土石流危険溪流、土石流危険区域、急傾斜地崩壊危険箇所）が分布している。また、調査範囲の西部を中心に軟弱層が2～10mの厚さで分布している。

計画地は、上記の法令の指定や危険箇所等に該当していない。

なお、計画地及びその周辺地域については、平成23年3月11日に発生した東日本大震災における地震や津波の被害を広域に受けている。

表 4.2-2 (1) 防災に関する法令に関する指定地等

No.	種 別	区域名	市町村名
A	急傾斜地崩壊危険区域	台山	多賀城市
B		台山の2	多賀城市
C		玉川一丁目	塩竈市
D		大日向	塩竈市
E		梅の宮	塩竈市
F		尾島町の2	塩竈市
G		小友	七ヶ浜町
H		上の山1	七ヶ浜町
I		上の山2	七ヶ浜町
J		清水の1	七ヶ浜町
K		清水の2	七ヶ浜町
L		舛形	七ヶ浜町
M		鶴ヶ湊の2	七ヶ浜町
N		東宮浜	七ヶ浜町
O		要害	七ヶ浜町
P		要害の2	七ヶ浜町

注) No. は図 4.2-4 (1) の図中番号に対応する。

〔「宮城県砂防設備現況図」(平成20年3月、宮城県土木部防災砂防課)より作成〕

表 4.2-2 (2) 防災に関する法令に関する指定地等

No.	種 別	区域名	市町村名
1	土砂災害特別警戒 区域 及び 土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)	旭町	塩竈市旭町、錦町
2		旭町の2	塩竈市旭町、尾島町
3		旭町の3	塩竈市旭町
4		芦畔町の1	塩竈市芦畔町
5		芦畔町の2	塩竈市芦畔町
6		芦畔町の3	塩竈市芦畔町、多賀城市笠神四丁目
7		栄町の2	塩竈市栄町、権現堂
8		花立の2	塩竈市花立町
9		花立町	塩竈市花立町
10		笠神一丁目の1	塩竈市牛生町、舟入二丁目、多賀城市笠神一丁目
11		笠神一丁目の2	多賀城市笠神一丁目、塩竈市花立町
12		牛生町	塩竈市牛生町、多賀城市笠神一丁目
13		小松崎の1	塩竈市小松崎
14		松橋1	多賀城市伝上山一丁目、中央三丁目
15		松橋2	多賀城市伝上山二丁目
16		新富町の1	塩竈市新富町、花立町、多賀城市笠神一丁目
17		新富町の2	塩竈市新富町、花立町
18		西町	塩竈市西町、宮町、一森山
19		泉ヶ岡	塩竈市西町、泉ヶ岡、本町、赤坂
20		鶴ヶ谷	多賀城市鶴ヶ谷二丁目
21		鶴ヶ谷の1	多賀城市鶴ヶ谷二丁目
22		鶴ヶ谷の2	多賀城市鶴ヶ谷一丁目
23		貞山通	塩竈市貞山通三丁目
24		伝上山	多賀城市伝上山一丁目
25		南町	塩竈市南町
26		尾島町	塩竈市尾島町
27		尾島町の2	塩竈市尾島町
28		本町	塩竈市本町、泉ヶ岡
29		本町の1	塩竈市宮町、一森山

注) 1.No. は図 4.2-4 (1) の図中番号に対応する。

2. 土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の土砂災害の種類のうち、調査範囲内に「土石流」と「地滑り」の指定はない。

〔「土砂災害警戒区域等指定箇所」(平成 28 年、宮城県)より作成〕

表 4.2-2 (3) 防災に関する法令に関する指定地等

種 別	名 称	所在地
土石流危険溪流	白坂沢	宮城郡七ヶ浜町白坂
土石流危険区域	白坂沢	宮城郡七ヶ浜町白坂
急傾斜地崩壊危険箇所	舩形	宮城郡七ヶ浜町湊浜字舩形
	上ノ山の1	宮城郡七ヶ浜町花淵浜字上ノ山
	上ノ山の2	宮城郡七ヶ浜町花淵浜字上ノ山
	清水の1	宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字西八ヶ森
	清水の2	宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字清水
	小友	宮城郡七ヶ浜町東宮浜字小友
	鶴が湊	宮城郡七ヶ浜町東宮浜字鶴が湊
	鶴ヶ湊の2	宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑山
	東宮浜	宮城郡七ヶ浜町東宮浜字上ノ台
	要害	宮城郡七ヶ浜町東宮浜字要害
	要害の2	宮城郡七ヶ浜町東宮浜字佐道
	影田の1	宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字影田
	影田の2	宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字影田
	土浜の1	宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字土浜
	要害の3	宮城郡七ヶ浜町東宮浜字要害
	古館	宮城郡七ヶ浜町花淵浜字古館
	天神堂	宮城郡七ヶ浜町花淵浜字天神堂
	熊野	宮城郡七ヶ浜町湊浜字熊野
	葦が森	宮城郡七ヶ浜町菖蒲田浜字葦が森
	浜伊場	宮城郡七ヶ浜町菖蒲田浜字浜伊場
	牛ノ鼻木	宮城郡七ヶ浜町菖蒲田浜字牛ノ鼻木
	後田	宮城郡七ヶ浜町松ヶ浜字後田
	東宮浜	宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑山
	花淵浜	宮城郡七ヶ浜町花淵浜字鹿野
	汐見台の1	宮城郡七ヶ浜町汐見台字七丁目
	汐見台の2	宮城郡七ヶ浜町汐見台字一丁目
	坂口	宮城郡七ヶ浜町松が浜字坂口
	後田	宮城郡七ヶ浜町松が浜字後田
	立花	宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字立花
	土浜の2	宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字土浜
	峯	宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字峯
	鶴ヶ湊の3	宮城郡七ヶ浜町東宮浜字鶴ヶ湊
	要害の4	宮城郡七ヶ浜町東宮浜字要害
	観音堂	宮城郡七ヶ浜町花淵浜字観音堂
	大日堂	宮城郡七ヶ浜町花淵浜字大日堂
	向山	宮城郡七ヶ浜町花淵浜字向山
	白坂	宮城郡七ヶ浜町花淵浜字白坂
	金色	宮城郡七ヶ浜町花淵浜字金色
	笹山	宮城郡七ヶ浜町松ヶ浜字笹山
	境山	宮城郡七ヶ浜町境山字二丁目

〔土砂災害警戒区域等指定箇所〕（平成28年、宮城県）より作成]

表 4.2-2 (4) 防災に関する法令に関する指定地等

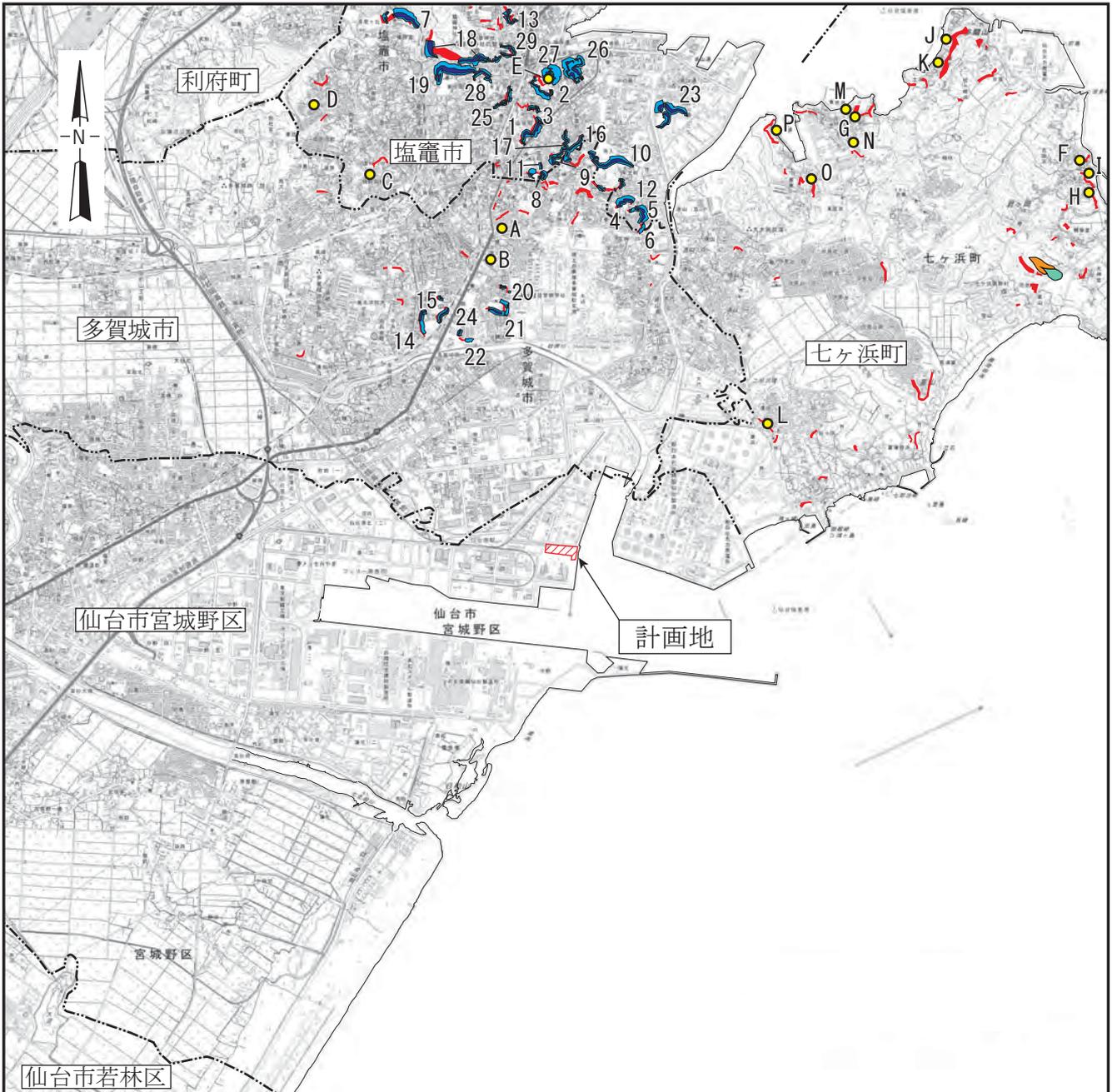
種 別	名 称	所在地
急傾斜地崩壊危険箇所	影田	宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字影田
	向田	宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字向田
	浜屋敷	宮城郡七ヶ浜町吉田浜字浜屋敷
	五月田	宮城郡七ヶ浜町花淵浜字五月田
	四月田	宮城郡七ヶ浜町花淵浜字四月田
	高山の1	宮城郡七ヶ浜町花淵山字高山
	高山の2	宮城郡七ヶ浜町花淵山字高山
	芦畔町の3	塩竈市芦畔町字
	鶴が谷の1	多賀城市鶴が谷字二丁目
	伝上山三丁目	多賀城市伝上山字三丁目
	松橋	多賀城市伝上山字一丁目
	留ヶ谷	多賀城市留ヶ谷字一丁目
	台山の3	多賀城市下馬字三丁目
	笠神一丁目の3	多賀城市笠神字一丁目
	笠神一丁目の4	多賀城市笠神字一丁目
	笠神一丁目の5	多賀城市笠神字一丁目
	笠神五丁目	多賀城市笠神字五丁目
	伝上山	多賀城市伝上山字一丁目
	鶴が谷の1	多賀城市鶴が谷字二丁目
	鶴が谷の2	多賀城市鶴が谷字一丁目
	東田中	多賀城市東田中字一丁目
	松橋	多賀城市伝上山字一丁目
	笠神一丁目	多賀城市笠神字一丁目
	笠神二丁目	多賀城市笠神字二丁目
	浮島	多賀城市浮島字二丁目
	田中	多賀城市田中字二丁目
	鶴ヶ谷	多賀城市鶴ヶ谷字二丁目
	中央	多賀城市中央字三丁目
	笠神五丁目	多賀城市笠神字五丁目
	下馬	多賀城市下馬字三丁目
	花立の2	塩竈市花立字
	新富町の1	塩竈市新富町字
	泉ヶ岡	塩竈市泉ヶ岡字
	玉川一丁目	塩竈市玉川字一丁目
	錦町	塩竈市錦町字
	旭町	塩竈市旭町字
	尾島町	塩竈市尾島町字
	南町	塩竈市南町字
	大日向	塩竈市大日向字
	旭町の2	塩竈市旭町字
新富町の2	塩竈市新富町字	
本町	塩竈市本町字	

〔土砂災害警戒区域等指定箇所〕(平成28年、宮城県)より作成]

表 4.2-2 (5) 防災に関する法令に関する指定地等

種 別	名 称	所在地
急傾斜地崩壊危険箇所	西町	塩竈市西町字
	貞山通	塩竈市貞山通字三丁目
	本町の1	塩竈市本町字
	栄町の2	塩竈市栄町字
	小松崎の1	塩竈市小松崎字
	尾島町の2	塩竈市尾島町字
	旭町の3	塩竈市旭町字
	芦畔町の1	塩竈市芦畔町字
	芦畔町の2	塩竈市芦畔町字
	旭町	塩竈市旭町字
	花立町	塩竈市花立町字
	みのが丘の1	塩竈市みのが丘字
	みのが丘の2	塩竈市みのが丘字
	大日向町	塩竈市大日向町字
	みのが丘の1	塩竈市みのが丘字
	尾島町の3	塩竈市尾島町字
	みのが丘の3	塩竈市みのが丘字
	笠神一丁目の2	多賀城市笠神字一丁目
	花立の1	塩竈市花立字
	笠神一丁目の1	塩竈市舟入字二丁目
	笠神一丁目の2	多賀城市笠神字一丁目
	牛生町	塩竈市牛生町字
	芦畔町の3	塩竈市芦畔町字

〔「土砂災害警戒区域等指定箇所」(平成28年、宮城県)より作成〕



凡 例

 計画地

-  急傾斜地崩壊危険区域 (A~P)
-  土砂災害警戒区域 (1~29)
-  土砂災害特別警戒区域 (1~29)

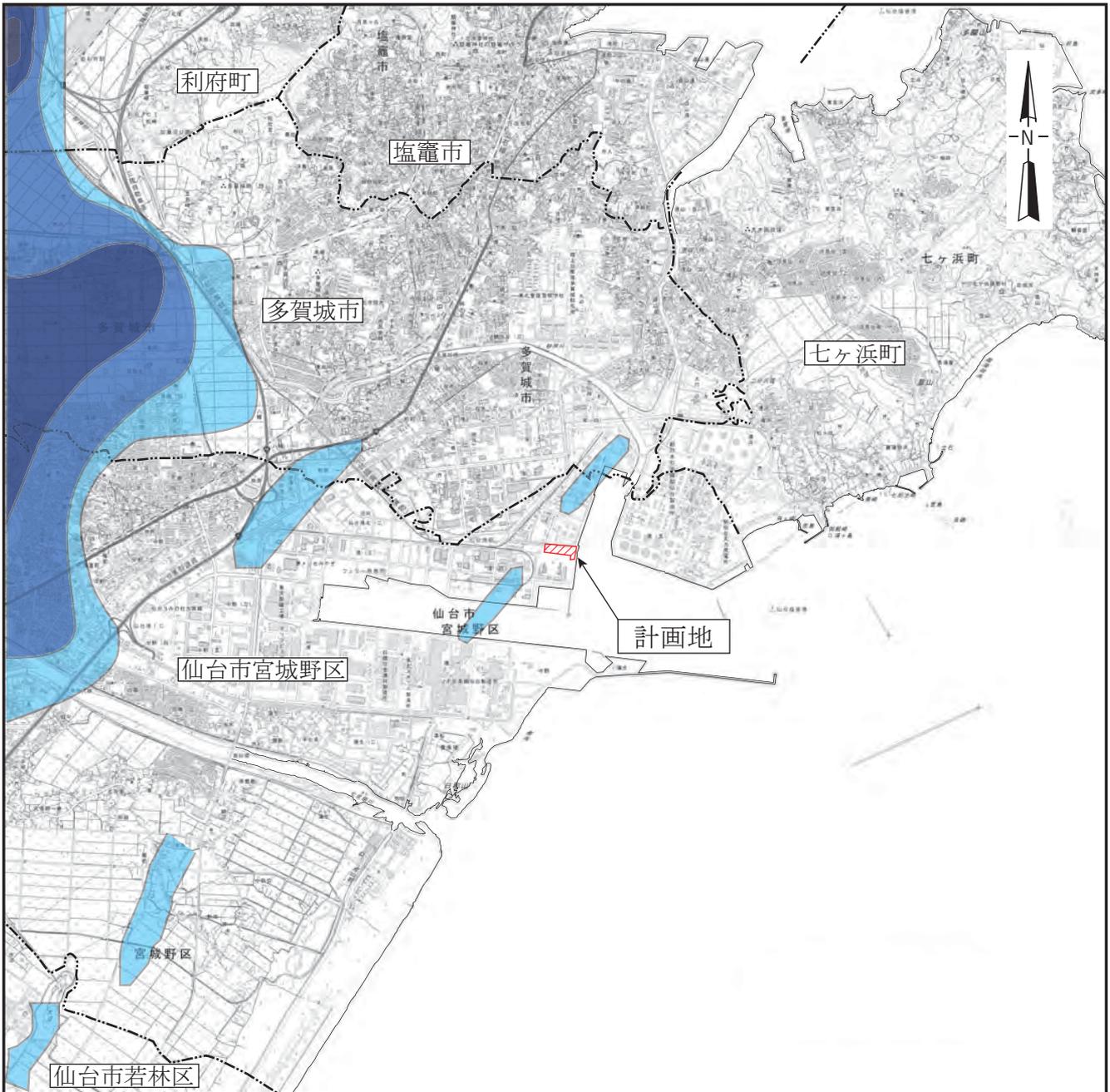
-  土石流危険溪流
-  土石流危険区域
-  急傾斜地崩壊危険箇所

〔「国土地理情報ダウンロードサービス（土砂災害警戒区域）」  
 (平成27年、国土交通省国土政策局国土情報課)  
 「国土地理情報ダウンロードサービス（土砂災害危険箇所）」  
 (平成22年、国土交通省国土政策局国土情報課)  
 「宮城県砂防設備現況図」（平成20年、宮城県土木部防災砂防課）等より作成〕



注) 図中番号は表4.2-2(1)及び表4.2-2(2)のNo.に対応する。

図4.2-4(1) 防災関連等指定区域



〔「仙台市史特別篇1自然」（平成6年、仙台市）より作成〕

凡 例

 計画地

軟弱層の厚さ

	0~2m
	2~4m
	4~6m
	6~8m
	8~10m

0 1 2km



図4. 2-4(2) 防災関連等指定区域[軟弱層]

#### 4.2.6 その他

調査範囲においては、過去5年間に7地点で土壌のダイオキシン類調査が行われている。ダイオキシン類の測定結果は表4.2-3、調査地点位置は図4.2-5に示すとおりであり、全ての地点で環境基準に適合している。

調査範囲における土壌汚染対策法に基づく要措置区域等の指定状況は、平成28年3月31日現在、調査範囲内には形質変更時要届出区域が1箇所ある。

「公害関係資料集」（平成28年、仙台市）によれば、平成27年度における土壌汚染に関する苦情件数は0件である。

表 4.2-3 土壌のダイオキシン類調査結果（平成23年度～平成27年度）

No.	調査地点名称	区 分	測定結果 (pg-TEQ/g)					環境基準 (pg-TEQ/g)
			平成23年 9月8日	平成24年 11月26日	平成25年 8月30日	平成26年 10月15日	平成27年 8月20日	
1	耳取2号公園	発生源 周 辺	—	0.0087	0.088	—	—	1,000
2	宮城県震災廃棄物 二次仮置場内		—	6.1	4.8	—	—	
3	西原西公園		—	—	—	2.0	—	
4	蒲生公園		—	—	—	0.093	—	
5	岡田ポンプ場		17.0	31.0	12.0	23.0	—	
6	蒲生搬入場跡地		—	3.9	2.6	5.9	—	
7	荒浜道路脇		4.1	5.4	5.8	—	—	

注) 1. 「6. 蒲生搬入場跡地」は、平成26年より「蒲生搬入場内」から名称が変更された。

2. No. は図4.2-5の図中番号に対応する。

〔「公害関係資料集」（平成23年度～平成27年度、仙台市）より作成〕



〔「公害関係資料集」(平成23年度～平成27年度、仙台市)等より作成〕

凡 例



計画地



土壤ダイオキシン類調査地点 (1～7)

注) 図中番号は表4.2-3のNo. に対応する。

0 1 2km

図4.2-5 ダイオキシン調査位置図

#### 4.2.7 その他事業の立地上配慮を有する地形・地質

事業の立地上配慮を要する地形・地質は「4.2.3 注目すべき地形・地質」、「4.2.4 大規模な造成を要する斜面地等」及び「4.2.5 災害の危険箇所」に記載したとおりであり、その他配慮を要する地形・地質はないと考えられる。

## 4.3 植物

### 4.3.1 注目すべき植物の状況

仙台市は、東側は太平洋に面した海岸地域、西側は奥羽山脈に面しており、高山や亜高山帯の植物から沿岸部にはアカガシ、シロダモ等の暖帯系の植物が生育する。特に仙台市の丘陵地帯は、暖温帯と冷温帯の間に位置する中間温帯と呼ばれる領域で、暖地系と寒地系の植物の両方が見られるなど、植物相は非常に多様である。

調査範囲における注目すべき植物の状況は、「平成 22 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 23 年、仙台市）、「宮城県植物目録 2000」（平成 13 年、宮城県植物の会・宮城県植物誌編集委員会）、「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（平成 28 年、宮城県）等を用いて整理した。これらの文献に記載されている種から調査範囲内に生育が確認されている種を抽出し、そのうち表 4.3-1 に示す選定基準に該当する種を注目すべき種として整理した。

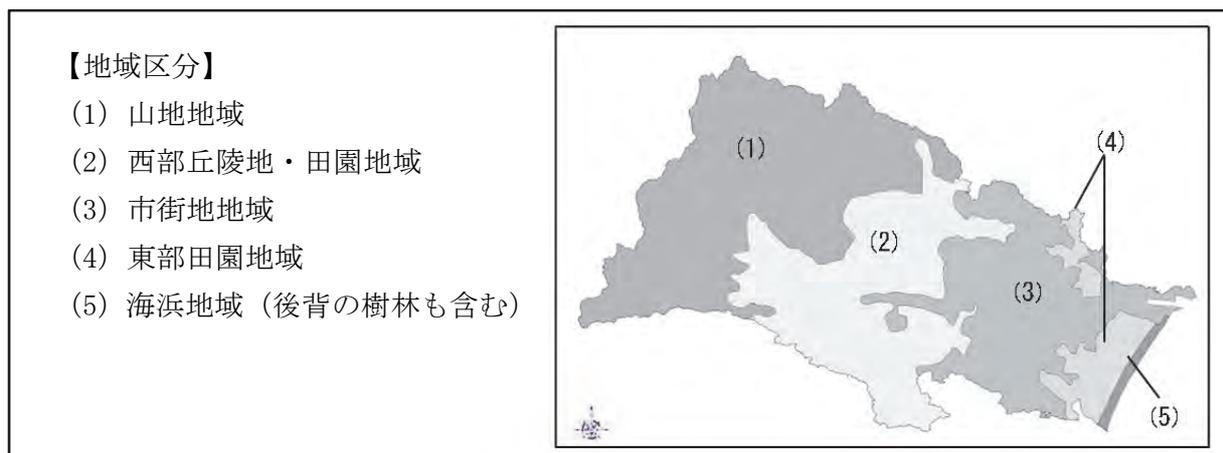
調査範囲における注目すべき植物種は、表 4.3-3 に示すとおりである。確認された種数は 5 目 77 科 184 種であり、環境省レッドリスト種は 42 種、宮城県レッドデータブック種は 66 種である。

表 4.3-1 注目すべき動植物種の選定基準

判断基準		番号等	説明	
仙台市における保全上重要な種の区分	学術上重要種	1	仙台市において、もともと稀産あるいは希少である種。あるいは分布が限定されている種。	
		2	仙台市周辺地域が分布の北限、南限となっている種。あるいは隔離分布となっている種。	
		3	仙台市が模式産地となっている種。	
		4	その他、学術上重要な種。	
	注目種	減少種	EX	絶滅。過去に仙台市に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、仙台市では既に絶滅したと考えられる種
			EW	野生絶滅。過去に仙台市で生息していたことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられる種
			A	現在、ほとんど見ることができない
			B	減少が著しい
			C	減少している
			*	普通に見られる
			/	生息・生育しない可能性が非常に大きい
	環境指標種	○	仙台市の各環境分類において良好な環境を指標する種	
	ふれあい保全種	○	市民に親しまれている（よく知られている）種のうち、保全上重要な種	
レッドデータブック等	環境省 RL （「環境省レッドリスト 2015」（平成 27 年、環境省）	EX	絶滅	
		EW	野生絶滅	
		CN	絶滅危惧 I A 類	
		EN	絶滅危惧 I B 類	
		VU	絶滅危惧 II 類	
		NT	準絶滅危惧	
		DD	情報不足	
		LP	絶滅のおそれのある地域個体群	
	県 RDB （「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（平成 28 年、宮城県）	EX	絶滅	
		EW	野生絶滅	
		CN+EN	絶滅危惧 I 類	
		VU	絶滅危惧 II 類	
		NT	準絶滅危惧	
		DD	情報不足	
		LP	絶滅のおそれのある地域個体群	
		要	要注目種	
	天然記念物	特天	「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号）における特別天然記念物	
		天	「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号）における天然記念物	
	種の保存法	国内	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年法律第 75 号）における国内希少野生動植物種	
		国際	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年法律第 75 号）における国際希少野生動植物種	

〔平成 22 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書（平成 23 年、仙台市）等より作成〕

表 4.3-2 減少種の地域区分



注) 計画地は「(3) 市街地地域」に位置する。

〔平成 22 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書〕（平成 23 年、仙台市より作成）

表 4.3-3 (1) 注目すべき植物種

No.	分類	科名	種名	文献				重要種選定根拠										分布地
								文化財	種の保存法	環境省 R	宮城県 RDB	仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書					環境指標種	
				学術上重要種	減少種													
					山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域					東部田園地域	海浜地域					
1	シダ植物	ミズニラ	ミズニラ					NT	NT	1	B		A					
2		トクサ	イヌスギナ			○	○					B		B			岡田中、中野	
3		コケシノブ	コハイホラゴケ	○						VU							塩釜市	
4		イノモトソウ	オオバノイノモトソウ			○					1, 2	B	C					
5		チャセンシダ	コタニワタリ				○					B					○	
6		シンガシラ	コモチシダ	○	○					VU							七ヶ浜町、花淵・菖蒲田(七ヶ浜)	
7		オシダ	リョウメンシダ				○						B			○	○	
8			オシダ				○	○					B				○	蒲生
9			アイアスカイノデ			○		○			2							七ヶ浜(七ヶ浜)
10			イワシロイノデ				○	○						B				蒲生
11			サカゲイノデ					○						B				
12			ジュウモンジシダ				○	○						B			○	○
13		ヒメシダ	ヒメワラビ				○				2		B	B	B			





表 4.3-3 (4) 注目すべき植物種

No.	分類	科名	種名	文献				重要種選定根拠											分布地								
				①	②	③	④	文化財	種の保存法	環境省E	宮城県DOB	仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書								ふれあい保全種							
												学術上需要種	減少種				環境指標種										
													山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域		海浜地域									
85	合弁花類	リンドウ	イヌセンブリ			○				VU	VU	1								岡田							
86		ミツガシワ	ヒメシロアサザ			○				VU	VU	1						A									
87			ガガブタ		○					NT	CR+EN										加瀬沼						
88		ガガイモ	コカモメヅル				○				VU (コカモメヅル)	1															
89		ヒルガオ	ハマヒルガオ			○													B	○	○	中野					
90		ムラサキ	スナビキソウ		○						VU											花淵浜(七ヶ浜)					
91		クマツヅラ	カリガネソウ				○				CR+EN																
92		シソ	ヒメハッカ			○				NT	CR+EN	1							B								
93			ナミキソウ		○						NT											菖蒲田浜(七ヶ浜)					
94		ゴマノハグサ	オオアブノメ			○				VU	要	1							B								
95			ウンラン		○	○													C			蒲生(仙台)、蒲生					
96			ムラサキサギゴケ(サギゴケ)			○	○									C			C		○	岡田					
97			イヌノフグリ			○					VU	VU	1							B							
98			カワヂシャ			○					NT	NT	1							B	B		宮城野区蒲生				
99		タヌキモ	ミミカキグサ		○						CR+EN											蒲生(仙台)					
100			フサタヌキモ			○					EN	EX		EX	EX	EX	EX	EX									
101			ムラサキミミカキグサ			○					NT	NT	1			A			A	A							
102		オオバコ	オオバコ			○	○													○		蒲生					
103		オミナエシ	オミナエシ			○													B		○	○	岡田				
104		キキョウ	キキョウ				○			VU	VU	1			B						○	○					
105		キク	オクモミジハグマ				○													C		○					
106	キッコウハグマ					○													B		○						
107	オケラ						○												B		○	○					
108	アキノキリンソウ						○													C		○					
109	エゾタンポポ						○	○												C	B	B	C	○	○	岡田	
110		オナモミ			○		○			VU	VU														花淵浜・松ヶ浜(七ヶ浜)		
111	単子葉植物	オモダカ	ヘラオモダカ			○													C		B		○		東部田園地区の水田		
112			サジオモダカ			○					NT									C		B		○		東部田園地区の水田	
113			アギナシ			○					NT	VU								C		B		○		東部田園地区の水田	
114			ウリカワ			○	○														C		B		○		東部田園地区の水田
115			オモダカ			○															C		B		○		東部田園地区の水田
116		ホソバオモダカ			○															C		B		○		東部田園地区の水田	
117	トチカガミ	クロモ		○	○	○														B		A		○		加瀬沼、菖蒲田浜(七ヶ浜)	

注) オモダカ科の6種は、「平成22年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年、仙台市)における減少種及び環境指標種では「オモダカの仲間」として指定している。

表 4.3-3 (5) 注目すべき植物種

No.	分類	科名	種名	文献				重要種選定根拠										分布地						
				①	②	③	④	文化財	種の保存法	環境省 R	宮城県 R/B	仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書							ふれあい保全種					
												学術上重要種	減少種				環境指標種							
													山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域				海浜地域				
118	単子葉植物	トチカガミ	ミズオオバコ			○				VU	NT	1		B		B								
119		ホロムイソウ	オオシバナ(マルミノシバナ)		○	○				NT	CR+EN	1					B	○				蒲生(仙台)、蒲生		
120		ヒルムシロ	エビモ			○	○								B		B		○					
121			コバノヒルムシロ			○				VU	VU				C		B		○					
122			ヒルムシロ			○									C		B		○					
123			フトヒルムシロ			○									C		B		○					
124			オヒルムシロ			○									C		B		○					
125			ホソバミズヒキモ			○					VU				C		B		○					
126			ツツイトモ		○		○				VU	CR+EN												加瀬沼
127			イトモ			○					NT	要	1		C		B							蒲生
128		イトクズモ		○						VU	CR+EN												七ヶ浜(七ヶ浜)	
129		イバラモ	イトトリゲモ			○				NT	NT	1		B		A								
130			トリゲモ			○				VU	CR+EN	1		B		A								
131			オオトリゲモ			○					CR+EN	1		B		A								
132		ユリ	カタクリ			○									B	B	B			○				
133			ニッコウキスゲ(ゼンテイカ)			○	○								B	B	B			○				
134			コオニユリ			○									B		B	B						
135			ヒメヤブラン			○	○								C			*	○	○				
136			オオバジャノヒゲ			○	○								B			C		○				
137			ヒメイズイ		○						NT													蒲生(仙台)
138	キンバイザサ	コキンバイザサ			○					EX		EX	EX	EX	EX	EX								
139	ミズアオイ	ミズアオイ			○				NT							C		○						
140		コナギ			○											C		○	○					
141	アヤメ	ノハナショウブ			○				NT	NT	1		C					○	○			蒲生		
142		ヒメシャガ			○				NT	VU			B	B				○	○					
143		カキツバタ			○							1		B		A								
144	イネ	ヤマアワ		○	○									B			B					菖蒲田浜(七ヶ浜)		
145		メヒシバ			○	○												○				蒲生		
146		テンキグサ(ハマニンニク)		○	○							1.4					C	○	○			菖蒲田浜(七ヶ浜)、蒲生(仙台)、蒲生から名取川河口まで		
147		カゼクサ			○	○								B	C			○				蒲生		
148		オオウシノケグサ			○	○						4		B		B	C	○	○					
149		ケカモノハシ			○												B	○	○				蒲生、中野	

表 4.3-3 (6) 注目すべき植物種

No.	分類	科名	種名	文献				重要種選定根拠											分布地							
				①	②	③	④	文化財	種の保存法	環境省 R	宮城県 RDB	仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書								ふれあい保全種						
												学術上重要種	減少種				環境指標種									
													山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域		海浜地域								
150	単子葉植物	イネ	カモノハシ		○	○																	菖蒲田浜(七ヶ浜)、岡田			
151			エゾノサヤヌカグサ			○																				
152			オギ			○																				岡田
153			アイアシ		○	○					NT		1													菖蒲田浜(七ヶ浜)、七北田川、蒲生
154			ヨシ			○	○																			蒲生海岸
155			ツルヨシ			○																				
156			オオクマザサ(センダイザサ)				○						3													
157			ネズミノオ			○	○																			岡田、蒲生干潟
158			マコモ			○	○																			
159			シバ			○	○																			
160			サトイモ	ヒメザゼンソウ			○																			
161			ミクリ	ミクリ			○				NT	NT	1													
162				ヤマトミクリ			○				NT	CR+EN	1													
163				ナガエミクリ			○				NT	NT	1													
164			ガマ	ヒメガマ			○	○																		
165				ガマ			○	○																		
166			カヤツリグサ	コウボウムギ		○	○																			菖蒲田浜(七ヶ浜)、蒲生(仙台)、蒲生
167				マメスゲ			○					CR+EN	1													岡田等
168				オオカサスゲ			○																			
169	オオクグ				○					NT	NT	1														
170	センダイスゲ					○						4														
171	スジヌマハリイ			○						VU	VU	1													阿川沼(七ヶ浜)	
172	フトイ				○																					
173	カンガレイ				○																					
174	サンカクイ				○	○																				
175	ラン	シュンラン				○	○																			
176		セッコク			○					CR+EN			EX	EX	EX	EX	EX									
177		ハマカキラン		○	○					VU	NT	1													新浜(仙台)、蒲生	
178		ミズトンボ			○					VU	CR+EN	1														
179		ジガバチソウ				○					NT															
180		クモキリソウ			○	○						1.4													岡田	
181		マイサギソウ		○						CR+EN	1													菖蒲田浜(七ヶ浜)		

表 4.3-3 (7) 注目すべき植物種

No.	分類	科名	種名	文献				重要種選定根拠											分布地	
				①	②	③	④	文化財	種の保存法	環境省 R1	宮城県 R2B	仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書								ふれあい保全種
												学術上重要種	減少種				環境指標種			
													山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域		海浜地域		
182	単子葉植物	ラン	マツラン(ベニカヤラン)		○	○				VU	CR+EN	1		B			B	○	蒲生(仙台)、蒲生	
183			カヤラン			○				VU		1		B			B			
184			ネジバナ		○	○									B		B		○	葛蒲田浜(七ヶ浜)
合計	5目77科184種			2	36	134	81	0	0	42	66	70	16	122	39	90	50	79	62	—

注) 使用した文献は以下のとおりである。

- ① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成 28 年、宮城県)
- ② 「宮城県植物目録 2000」(平成 13 年、宮城県植物の会・宮城県植物誌編集委員会)
- ③ 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年、仙台市)
- ④ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年、宮城県)

#### 4.3.2 植生及び注目すべき植物群落

調査範囲の現存植生は、図 4.3-1 に示すとおりである。

仙台市の平野部には「市街地」、「工場地帯」、「水田雑草群落」が広がっている。七北田川の河川敷には、「ヨシクラス」や「ヤナギ低木群落 (IV)」、といった自然度の高い植生が見られる。仙台塩釜港から名取川に至る海岸部には、海岸に「自然裸地」、その陸側には「造成地」が広がり、一部に「クロマツ植林」が分布する。なお、計画地の植生は、「工場地帯」となっている。

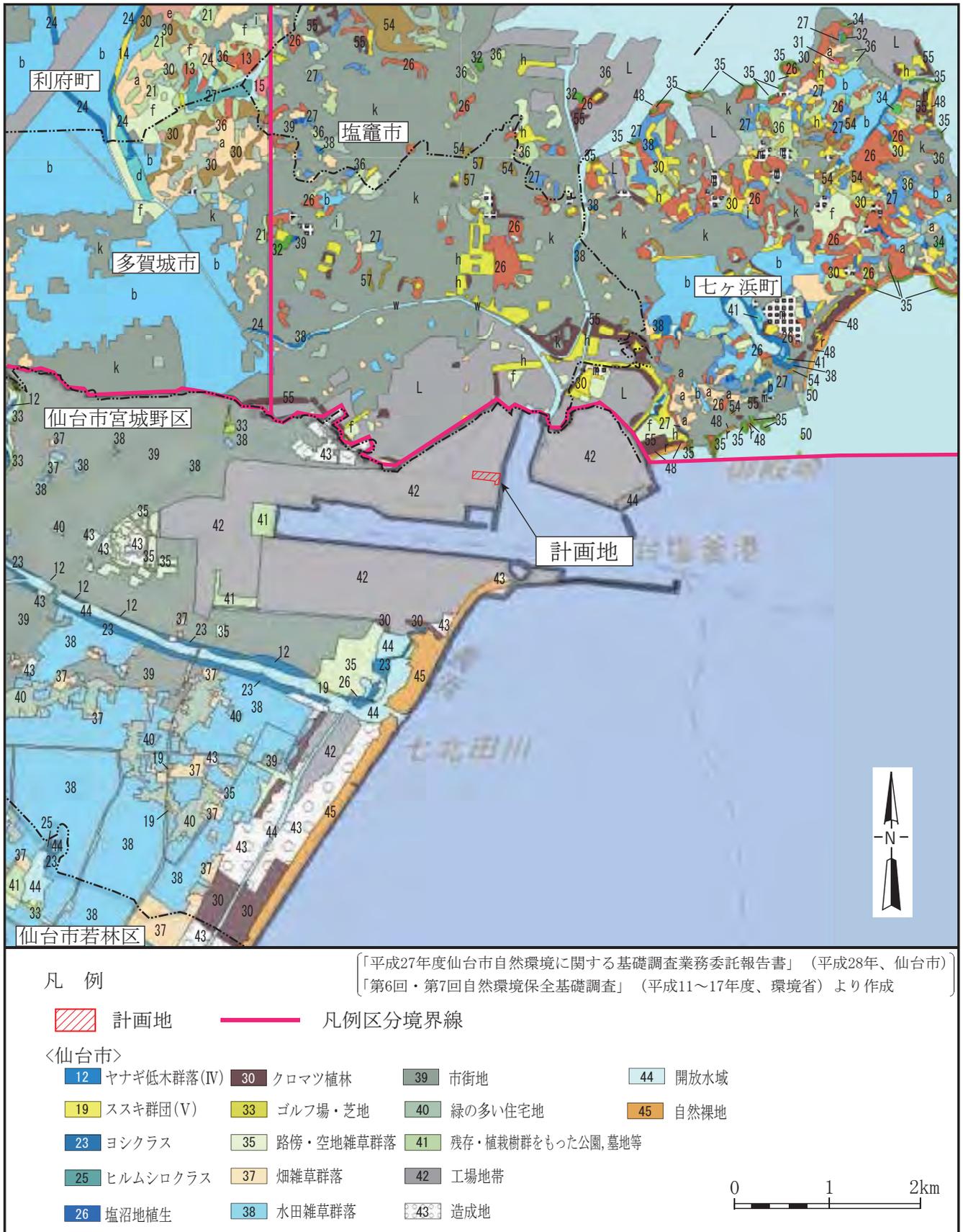
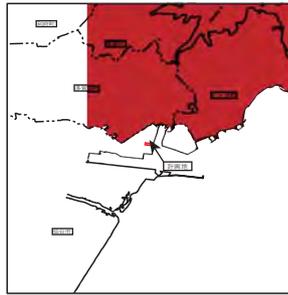
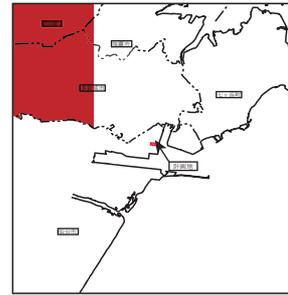


図4.3-1(1) 現存植生図



凡例  
 (多賀城市、塩竈市、利府町の一部  
 及び七ヶ浜町)

- 27 オニグルミ群落(V)
- 26 アカマツ群落(V)
- 30 ススキ群団(V)
- 31 伐採跡地群落(V)
- 32 タブノキ群落
- 34 イロハモミジ-ケヤキ群集
- 35 マサキ-トベラ群集
- 36 クリ-コナラ群集
- 38 ヨシクラス
- 39 ミゾソバ-ヨシ群落
- 41 オギ群集
- 48 砂丘植生
- 50 コハマギク群落
- 54 スギ・ヒノキ・サワラ植林
- 55 クロマツ植林
- h ゴルフ場・芝地
- f 路傍・空地雑草群落
- a 畑雑草群落
- b 水田雑草群落
- k 市街地
- i 緑の多い住宅地
- L 工場地帯
- III 造成地
- w 開放水域
- r 自然裸地



凡例  
 (多賀城市、利府町、塩竈市の一部)

- 13 アカマツ群落(V)
- 14 ススキ群団(V)
- 15 伐採跡地群落(V)
- 21 クリ-コナラ群集
- 24 ヨシクラス
- 30 スギ・ヒノキ・サワラ植林
- 36 竹林
- f 路傍・空地雑草群落
- a 畑雑草群落
- b 水田雑草群落
- d 放棄水田雑草群落
- k 市街地
- i 緑の多い住宅地

〔「第6回・第7回自然環境保全基礎調査」(平成11~17年度、環境省)より作成〕

図4.3-1(2) 現存植生図

「平成 22 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 23 年、仙台市）では、表 4.3-4 に示す選定基準により「植物の生育地として重要な地域」を選定している。また、「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（平成 28 年、宮城県）では、表 4.3-5 に示す「特定植物群落選定基準」（環境省自然環境局生物多様性センター）における選定基準により、「希少な植物群落」を選定している。

調査範囲における植物の生育地として重要な地域は、表 4.3-6、表 4.3-7 及び図 4.3-2 に示すとおりである。調査範囲においては、「蒲生の塩生植物群落」、「塩竈神社のスギ植林」等の注目すべき植物群落が存在する。

なお、計画地にはこれらの植物群落は存在しない。

表 4.3-4 保全上重要な動植物の生息・生育地選定のための基準

項目	No.	判断理由
仙台市における保全上重要な地域	1	保全上重要な動植物種が高密度で分布する地域
	2	多様な生物相が保存されている地域
	3	自然性の高い植生、その他学術上重要な植生が保存されている地域
	4	湿地、湧水、岸壁地、地滑り等の動植物の生息・生育地として特異な環境を有する地域
	5	自然とのふれあいの場としてふさわしい地域
	6	環境教育の場としてふさわしい地域
	7	郷土の特色が保存されている地域（里地・里山・居久根 等）
	8	緑の回廊としてあるいは動物の移動のネットワークとして重要な地域（山地から市街地への連続した緑地。市街地や田園地域に点在する直地等）
	9	海辺や水辺、植生帯境界等のエコトーンとして重要な地域

〔「平成 22 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 23 年、仙台市）より作成〕

表 4.3-5 希少な植物群落の選定基準

項目	No.	判断理由
特定植物群落の選定基準	A	原生林もしくはそれに近い自然林
	B	国内の若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落又は個体群
	C	比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布など、分布限界となる産地に見られる植物群落又は個体群
	D	砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地などの特殊な立地に固有の植物群落又は個体群で、その群落の特徴が典型的なもの
	E	郷土景観を代表する植物群落で、特にその特徴が典型的なもの
	F	人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採などの人為が入っていないもの
	G	乱獲などの人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落又は個体群
	H	その他、学術上重要な植物群落又は個体群

〔「環境省自然環境局生物多様性センターHP」より作成〕

表 4.3-6 注目すべき植物群落（植物の生育地として重要な地域）

No.	件名	概要
1	蒲生の塩生植物群落	仙台湾海浜県自然環境保全地域、仙台海浜鳥獣保護区蒲生特別保護地区。干潮時には干上がる地やわずかに水を冠っている地にみられるオオシバナ、ハマツナ、ハマゼリ等を含む群落である。
2	仙台湾沿岸の海岸林	仙台湾海浜県自然環境保全地域。飛砂、潮害防備保安林、仙台港より福島県境に至る約40kmの沿岸部。藩政時代からのクロマツ林で飛砂、潮風の防備の役割も大きい。
3	仙台湾沿岸の砂浜植物群落	仙台湾海浜県自然環境保全地域。砂浜の最も海側にはハマニンニク、内側ではコウボウムギ、さらに内側ではケカモノハシを主体とする群落形成されている。
4	七北田川下流域の河畔植生	河畔植生として保護が必要。

注) No. は図 4.3-2 の図中番号に対応する。

〔平成22年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書〕（平成23年、仙台市）より作成

表 4.3-7 注目すべき植物群落（希少な植物群落）

No.	種類	件名	群落タイプ	所在地	面積 (ha)
5	単一群落	塩竈神社のスギ植林	植林	塩竈市	16
6	群落複合	加瀬沼の池沼植物群落	池沼植生	多賀城市・利府町	20
7	群落複合	松島の植物群落	島嶼植生	塩竈市、松島町、七ヶ浜町、東松島市（旧鳴瀬町）	850
8	単一群落	深川沼のエゾウキヤガラ群落	池沼植生	七ヶ浜	7.5
9	群落複合	蒲生の塩性地植物群落	塩湿地植生	仙台市	20

注) No. は図 4.3-2 の図中番号に対応する。

〔「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」〕（平成28年、宮城県）より作成



凡 例

-  計画地
-  植物の生育地として重要な地域
-  希少な植物群落 単一群落
-  希少な植物群落 群落複合

〔平成 22 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書〕（平成 23 年、仙台市）  
 〔宮城県「絶滅のおそれのある野生動植物」〕（平成 28 年、宮城県）より作成

注) 図中番号は表4.3-6及び表4.3-7のNo. に対応する。

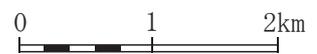


図4.3-2 植物の生育地として重要な地域の位置図

### 4.3.3 その他事業の立地上配慮を要する植物

仙台市の「杜の都の環境をつくる条例」に基づく「保存樹木」、「保存樹林」、「保存緑地」及び多賀城市の「多賀城市樹木の保存に関する要綱」（昭和 60 年多賀城市告示第 40 号）に基づく「保存樹木」の指定状況は表 4.3-8、及び図 4.3-3 に示すとおりである。調査範囲においては、「保存樹木」が 15 件あり、保存樹林及び保存緑地の指定はない。また、塩竈市、七ヶ浜町、利府町においてはこれらに準ずる制度はなく、立地上配慮を要する植物の指定はない。

なお、計画地にはこれらの指定はない。

表 4.3-8 保存樹木

No.	市	名称	所有者	樹種	推定樹齢 (年)	樹高 (m)	幹周 (m)
1	多賀城市	貴船神社の 檜の木	貴船明神	ウラジロガシ（ブナ科コナ ラ属）	470	30.00	3.20
2	多賀城市	陸奥総社宮の 白木蓮	市川稔	ハクモクレン（モクレン科 モクレン属）	240	16.80	2.30
3	多賀城市	陸奥総社宮の老杉	陸奥総社宮	スギ（スギ科スギ属）	620	25.60	4.88
4	多賀城市	政庁跡のこぶし	多賀城市	コブシ（モクレン科モクレン 属）	180	17.80	1.82
5	多賀城市	五輪屋敷の椿群	佐藤千代	ツバキ（ツバキ科ツバキ属）	420	6.00	1.25
6	多賀城市	旧勤労青少年 ホームの糸桧葉	多賀城市	ヒヨクヒバ（ヒノキ科ヒノ キ属）	250	9.60	2.16
7	多賀城市	東小学校の 黒もっこく	多賀城市	モッコク（ツバキ科モッコ ク属）	190	4.30	1.10
8	多賀城市	八幡神社の高野槇	八幡神社	コウヤマキ（スギ科コウヤ マキ属）	420	24.65	4.53
9	多賀城市	末の松山の黒松	多賀城市	クロマツ（マツ科マツ属）	470	18.80	3.48
10	多賀城市	高崎のさつき	鈴木たかい	サツキツツジ（ツツジ科ツ ツジ属）	300	2.00	17.00
11	多賀城市	留ヶ谷の四季咲 つつじ	桜井政郎	ムラサキリュウキュウツツジ （ツツジ科ツツジ属）	90	2.70	1.30
12	多賀城市	市川字作貫の木蓮	多賀城市	ハクモクレン（モクレン科 モクレン属）	170	10.20	2.15
13	多賀城市	市川字大畑の いちょう	多賀城市	イチヨウ（イチヨウ科イチ ヨウ属）	190	25.40	3.00
14	多賀城市	天満宮の椎の木	天満宮	シイ（ブナ科シイノキ属）	250	22.10	2.75
15	多賀城市	西園寺の山紅葉	西園寺	ヤマモミジ（カエデ科カエ デ属）	190	10.80	2.63

注) No. は図 4.3-3 の図中番号に対応する。

〔「保存樹木」(多賀城市 HP) より作成〕



〔保存樹木〕(多賀城市HP)より作成

凡 例

-  計画地
-  保存樹木

注) 図中番号は表4.3-8のNo.に対応する。

図4.3-3 保存樹木位置図

## 4.4 動物

### 4.4.1 注目すべき動物の状況

調査範囲における注目すべき動物の状況は、「平成 22 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 23 年、仙台市）、「宮城県の絶滅のおそれのある野生動物」（平成 28 年、宮城県）、「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」（平成 13 年、宮城県）等を用いて整理した。これらの文献に記載されている種から調査範囲内に生息が確認されている種を抽出し、そのうち表 4.3-1 に示す選定基準に該当する種を注目すべき種として整理した。

調査範囲における注目すべき動物種の種数は表 4.4-1、種類は表 4.4-2 から表 4.4-7 に示すとおりである。確認された注目すべき動物種の種数は 41 目 103 科 212 種であり、環境省レッドリスト種は 79 種、宮城県レッドデータブック種は 112 種である。

また、計画地より約 1km 離れている新仙台火力発電所の煙突でハヤブサの営巣が確認されている。

表 4.4-1 注目すべき動物種の種数

項目	目数	科数	種数	重要種選定根拠													
				文化財	種の保存法	環境省 RL	宮城県 RDB	仙台市重要種区分								環境指標種	ふれあい保全種
								学術上重要種	注目種								
									減少種								
									山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域				
哺乳類	5	10	19	1	0	3	7	10	19	15	17	13	12	8	9		
鳥類	14	31	78	5	6	32	34	31	36	57	64	60	55	44	17		
爬虫類	3	6	11	0	2	2	3	5	7	9	8	6	6	6	6		
両生類	2	5	9	0	0	4	5	2	9	9	9	3	2	7	5		
魚類	9	11	22	0	0	18	17	14	10	11	12	11	13	7	8		
昆虫類	8	40	73	0	0	20	46	29	5	38	34	25	12	23	17		
合計	41	103	212	6	8	79	112	91	86	139	144	118	100	95	62		

表 4.4-2 注目すべき動物 [哺乳類]

No.	目名	科名	種名	文献				文化財	種の保存法	環境省	宮城県 RDB	重要種選定根拠								分布地
				①	②	③	④					仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書								
												学術上重要種	減少種				環境指標種	ふれあい保全種		
													山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域			海浜地域	
1	モグラ	トガリネズミ	シントウトガリネズミ			○				DD		*	C	/	/	/	○			
2			ホンシュウジネズミ			○						*	C	B	C		○	○		
3			ニホンカワネズミ			○				DD	1,4	B	B	/	/	/	○	○		
4	モグラ		ヒメヒミズ			○				1	*		/	/	/	○				
5			ミズラモグラ			○		NT	NT	1,4	C		/	/	/					
6			アズマモグラ			○	○					*	C	C	C	*		○		
7	コウモリ	キクガシラコウモリ	ニホンキクガシラコウモリ			○				1	*	C	C							
8			ヒナコウモリ	モモジロコウモリ			○				1,4	C	C	C						
9				ヤマコウモリ			○		VU	VU	1,4	C	B	B						
10				ヒナコウモリ			○			VU	1,4	C	C	C		C				
11	ウサギ	ウサギ	トウホクノウサギ			○	○				*	C	B	B	C		○			
12	ネズミ	リス	ニホンリス			○	○				*	C	B		C		○			
13			ニッコウムササビ			○				1,4	*	C	B					○		
14		ヤマネ	ヤマネ			○		天		NT	1,4	C		/	/					
15		ネズミ	ハタネズミ			○						C	C	B	C	C	○	○		
16			ヒメネズミ			○						*	C	C	/		○			
17		ネコ	イヌ	ホンドタヌキ			○	○				*	C		C		○	○		
18	イタチ			イタチ		○	○	○				C	C	B	C	C	○	○		
19				ホンドオコジョ			○			NT	NT	1,4	C		/	/	/			
合計	5目10科19種			0	1	19	5	1	0	3	7	10	19	15	17	13	12	8	9	—

注) 使用した文献は以下のとおりである。

- ① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成 28 年、宮城県)
- ② 「宮城県の野生哺乳動物」(平成 8 年、宮城野野生動物研究会)
- ③ 「平成 22 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年、仙台市)
- ④ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年、宮城県)



表 4.4-3 (2) 注目すべき動物 [鳥類]

No.	目名	科名	種名	文献					重要種選定根拠											分布地			
				①	②	③	④	⑤	文化財	種の保存法	環境省RL	宮城県RDB	仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書										
													学術上重要種	減少種					環境指標種		ふれあい保全種		
														山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域					
34	チドリ	シギ	ホウロクシギ				○				VU	NT							B	○	蒲生		
35			オオジシギ				○				NT	NT	1, 4	B	B	A	B	B			蒲生		
36		カモメ	コアジサシ				○				国際	VU	VU	1, 2, 4			A	B	B		蒲生		
37	カッコウ	カッコウ	カッコウ				○							C	C	B	C	C	○	○	七北田川		
38			ホトトギス				○							*	*	C	C	C	○	○			
39	フクロウ	フクロウ	トラフズク				○						1				B	B			蒲生		
40			コミミズク				○					要	1		B	A	B	B	○		蒲生		
41			オオコノハズク				○					要	1	C	C	C	B	B					
42			アオバズク				○						VU			C	B	B	B	○			
43			フクロウ				○									C	C	B	B	C	○	○	
44	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ				○				NT	NT		*	C	B			○				
45	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ				○					要				B			○				
46			カワセミ				○	○								C	C	C		○	○	蒲生、七北田川	
47	キツツキ	キツツキ	アオゲラ				○	○						*	C	B	C	C	○	○			
48			アカゲラ				○	○							*	C	B	C	C				
49	スズメ	セキレイ	キセキレイ	○			○	○						*	C	C	C		○	○			
50			セグロセキレイ	○			○	○					4	C	C	C	C						
51		サンショウクイ	サンショウクイ	○			○	○			VU	VU	1, 4	C	C	B	C	C					
52		モズ	チゴモズ	○			○				CR	CR+EN	1, 4		B	B	B						
53			モズ	○			○	○						*	C	B	C	C	○	○			
54			アカモズ	○			○					EN	CR+EN	1, 4		B	B	B	B			蒲生、七北田川	
55		カワガラス	カワガラス				○							*	C	B			○				
56		ヒバリ	ヒバリ	○			○	○							C	B	C	C	○	○			
57		ツバメ	ツバメ	○			○	○							C	C	C		○				
58		ツグミ	コルリ	○			○								*	C	B	C	C	○			
59	ルリビタキ					○	○							*	C	C	C	C					
60	トラツグミ		○			○	○							*	C	B	C	C	○				
61	クロツグミ		○			○								*	C	B	C	C	○				
62	シロハラ		○			○	○							*	C	B			○				
63	ウグイス		ウグイス	○			○	○						*	*	C	C	C		○			
64	ウグイス	オオセッカ	○							国内	EN	VU											
65		コヨシキリ	○			○									C	A	C	C	○		蒲生		
66		オオヨシキリ	○			○	○								C	B	C	C	○		蒲生		
67		センダイムシクイ	○			○	○							*	C	B			○				



表 4.4-4 注目すべき動物 [爬虫類]

No.	目名	科名	種名	文献				文化財	種の保存法	環境省R1	宮城県RDB	重要種選定根拠							分布地	
				①	②	③	④					仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書								
												学術上重要種	減少種	ふれあい保全種	山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域		海浜地域
1	カメ	ウミガメ	アカウミガメ	○				国際	EN	DD									宮城野区蒲生、蒲生海岸 七ヶ浜湊浜、二分沢堤	
2			オサガメ	○				国際											宮城野区蒲生、蒲生海岸 宮城野区蒲生、七北田川河口	
3		イシガメ	クサガメ		○	○						1	B	B	B	B		○		
4			イシガメ		○				NT	DD	1,4	A	A	A	A			○		
5	トカゲ	トカゲ		○							1	C	C	A			○	○		
6		カナヘビ	カナヘビ	○	○	○						*	*	C	C	C	○	○	宮城野区蒲生 七ヶ浜町花湊浜、国際村	
7	ヘビ	ヘビ	タカチホヘビ		○					DD	1	C	C	B			○			
8			ジムグリ		○	○							*	*	C	C	C	○	七ヶ浜町菖蒲田浜、阿川沼	
9			アオダイショウ		○	○	○						*	*	C	C	C	○	○	宮城野区蒲生、蒲生
10			ヒバカリ			○							C	C	C	C	B	○	○	
11			クサリヘビ	マムシ			○						4	C	C					
合計	3目6科11種			0	5	8	4	0	2	2	3	5	7	9	8	6	6	6	6	—

注) 使用した文献は以下のとおりである。

- ① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成 28 年、宮城県)
- ② 「宮城県の両生類・は虫類」(平成 12 年、宮城野野生動物研究会)
- ③ 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年、仙台市)
- ④ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年、宮城県)

表 4.4-5 注目すべき動物 [両生類]

No.	目名	科名	種名	文献				重要種選定根拠										分布地		
				①	②	③	④	文化財	種の保存法	環境省R1	宮城県R03	仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書							ふれあい保全種	
												学術上重要種	減少種			環境指標種				
									山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域		東部田園地域	海浜地域						
1	サンショウウオ	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ	○	○	○			NT	NT	1,4	*	C	B			○	多賀城市市川大畑、多賀城跡		
2			クロサンショウウオ		○	○			NT	LP	4	*	C	A			○		○	
3			イモリ	アカハライモリ		○				NT	LP		*	C	A				○	○
4	カエル	ヒキガエル	アズマヒキガエル		○	○						*	C	C	C	C	○	多賀城市山王七ヶ浜町菖蒲田浜、阿川沼七ヶ浜町花瀬浜、国際村		
5			アカガエル	タゴガエル		○							*	C	B				○	
6			ニホンアカガエル		○	○	○						*	*	B	*	C			
7			トウキョウダルマガエル			○				NT	NT		C	C	B	C			○	○
8			ツチガエル			○				NT			*	C	B				○	
9			アオガエル	カジガエル			○						*	*	B				○	○
合計	2目5科9種			0	2	9	4	0	0	4	5	2	9	9	9	3	2	7	5	—

注) 使用した文献は以下のとおりである。

- ① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成28年、宮城県)
- ② 「宮城県の両生類・は虫類」(平成12年、宮城野野生動物研究会)
- ③ 「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年、仙台市)
- ④ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年、宮城県)

表 4.4-6 注目すべき動物 [魚類]

No.	目名	科名	種名	文献			重要種選定根拠													分布地		
				①	②	③	文化財	種の保存法	環境省 R1	宮城県 R03	仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書										ふれあい保全種	
											学術上重要種	山地地域	減少種		市街地地域	東部田園地域	海浜地域	環境指標種				
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ	○				VU	NT	1			B	B						A		
2	ウナギ	ウナギ	ウナギ	○				EN	NT	1	A	B	B	B	B			○	七北田川			
3	コイ	コイ	テツギョ	○					CR+EN	1	A		A									
4			タナゴ	○				EN	CR+EN	EX	EX	EX	EX	EX								
5			アカヒレタビラ	○				EN	CR+EN	1			EX	A								
6			ゼニタナゴ	○				CR	CR+EN		EW	EW	EW	EW	EW							
7			ウグイ	○	○						*	C	B	C	C			○	○	七北田川		
8			シナイモツゴ	○				CR	CR+EN	1	A			EX								
9			ドジョウ	ドジョウ		○				DD												
10				ホトケドジョウ	○				EN	NT	1		B	B					○	○		
11	ナマズ	ギギ	ギバチ	○				VU	NT	1		*	C					○				
12	サケ	アユ	アユ	○								C	C	C	C			○	○	七北田川		
13		サケ	サクラマス	○				NT	NT	1	C			C	C			○	○			
14	ダツ	メダカ	メダカ			○		VU	NT	1		A	A	C	C			○	○			
15	トゲウオ	トゲウオ	イトヨ日本海型	○	○			LP	DD (ニホンイトヨ)	1					A				蒲生干潟、蒲生の干潟			
16	カサゴ	カジカ	カジカ大卵型	○				NT			C	C	A					○	○	七北田川		
17			カジカ小卵型	○				EN	VU (ウツセミカジカ)		EX	EX	EX	EX	EX							
18	スズキ	ハゼ	ヒモハゼ	○	○			NT	NT	1					C				七北田川河口、蒲生干潟			
19			エドハゼ	○	○			VU	VU	1,2					C				七北田川河口、蒲生干潟			
20			ジュズカケハゼ			○			NT													
21			マサゴハゼ	○					VU	CR+EN	1,2					C				蒲生干潟		
22			アベハゼ	○	○				NT	NT	2					C				七北田川河口、蒲生干潟、七北田川の河口付近		
合計	9目11科22種			4	19	4	0	0	18	17	14	10	11	12	11	13	7	8	—			

注) 使用した文献は以下のとおりである。

- ① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成 28 年、宮城県)
- ② 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年、仙台市)
- ③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年、宮城県)

表 4.4-7 (1) 注目すべき動物 [昆虫類]

No.	目名	科名	種名	文献						重要種選定根拠										分布地					
				①	②	③	④	⑤	⑥	文化財	種の保存法	環境省 R	宮城県 ROB	仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書							ふれあい保全種				
														減少種								環境指標種			
														学術上需要種	山地地域	西部丘陵地・田園地域	市街地地域	東部田園地域	海浜地域						
1	トンボ	イトトンボ	オオセシジメイトトンボ	○							EN	VU											阿川沼で絶滅		
2			ヒヌマイイトトンボ					○			EN	VU	1					A							
3		カリトンボ	アオハダトンボ					○			NT				C	A						○		泉区七北田川	
4		サナエトンボ	ホシサナエ					○				VU			B										
5			ウチリヤンマ					○					1		C	B	C								
6			ナゴヤンマ					○			VU	CR+EN	1, 2			C								七北田川	
7		オニヤンマ	オニヤンマ					○	○						*	B						○			
8		ヤンマ	カトリヤンマ					○				CR+EN	1		B		B								
9			ヤブヤンマ					○				VU			B		B								
10		トンボ	ハチョウトンボ					○				CR+EN	1		B	A					○				
11			キトンボ					○				VU	1		A	A									
12			ナツアカネ					○	○						C (アカネの仲間)	C (アカネの仲間)		○ (アカネの仲間)	○ (アカネの仲間)						
13			マコテアカネ					○	○						C (アカネの仲間)	C (アカネの仲間)		○ (アカネの仲間)	○ (アカネの仲間)						
14			アキアカネ					○	○						C (アカネの仲間)	C (アカネの仲間)		○ (アカネの仲間)	○ (アカネの仲間)						
15			ノシメトンボ					○	○						C (アカネの仲間)	C (アカネの仲間)		○ (アカネの仲間)	○ (アカネの仲間)						
16			マイコアカネ					○	○						C (アカネの仲間)	C (アカネの仲間)		○ (アカネの仲間)	○ (アカネの仲間)						
17			ヒメアカネ					○				CR+EN	1		B	A									
18			リスアカネ					○				VU			B	A									
19	カマキリ	カマキリ	オオカマキリ					○	○						*	C	C			○					
20	ハッパ	スズムシ	スズムシ					○					1		B	A	B				○				
21		ハッパ	ヤマトマタハッパ	○				○				VU	2					C		○				仙台市宮城野区	
22			カリラハッパ					○				NT	1			B	B			○					
23			トノサマハッパ					○	○						*	C	*			○					
24	カメムシ	セミ	エゾセミ					○	○						*	B				○	○				
25		コオイムシ	コオイムシ					○			NT	NT	1		B	A	A								
26			タカメ					○			VU	CR+EN	1		B	A	A			○					
27		タイコウチ	タイコウチ					○					1		B		A								
28	アメリカカゲロウ	ウスバカゲロウ	オオウスバカゲロウ					○				CR+EN						C		○					
29	コウチュウ	ハンミョウ	ハンミョウ					○							B	B									
30			カララハンミョウ					○	○		EN	CR+EN	1					C		○				仙台市蒲生海岸、宮城野区蒲生	
31		オサムシ	ヒョウタンコサムシ	○				○				NT						C		○				七ヶ浜町、塩釜市、宮城野区蒲生	
32			ヤマトックリコサムシ					○					1		B										
33		ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ					○			NT				C	B	B								
34			ゲンゴロウ					○			VU	NT	1			B	B				○				
35		カムシ	コガムシ					○			DD														

表 4.4-7 (2) 注目すべき動物 [昆虫類]

No.	目名	科名	種名	文献						文化財	種の保存法	環境省 R	宮城県 RDB	重要種選定根拠							分布地	
				①	②	③	④	⑤	⑥					仙台市自然環境に関する 基礎調査業務委託報告書								
														学術上 需要種	減少種					環境 指標種		ふれあい 保全種
															山地 地域	西部 丘陵地・ 田園 地域	市街 地 地域	東部 田園 地域	海浜 地域			
36	コウチュウ	クワカ <sup>ク</sup> タムシ	ミヤマクワカ <sup>ク</sup> タ					○						C	B			○	○			
37			ノコキ <sup>ク</sup> リクワカ <sup>ク</sup> タ					○						C	C	C			○	○		
38		タマムシ	タマムシ					○				NT (ヤマトタマムシ)	1, 2		B	A	A			○		
39		ホタル	ゲンジ <sup>ホ</sup> タル					○				NT	1		C	B	C		○	○		
40		コガ <sup>ネ</sup> ムシ	ヤマトゲンシ <sup>ク</sup> ソコガ <sup>ネ</sup>	○								NT									宮城野区	
41		コメツキムシ	スナサビ <sup>キ</sup> コリ	○								NT									宮城野区	
42		ゴ <sup>ミ</sup> ムシタ <sup>マ</sup> シ	ハマヒョウタンコ <sup>ミ</sup> ムシタ <sup>マ</sup> シ					○										C	○		宮城野区蒲生	
43		カミキリムシ	ヤマトキンハサカミキリ	○								VU									仙台市宮城野区	
44			アオシ <sup>カ</sup> ミキリ					○					1, 2		B	B	B					
45			ヨツボ <sup>シ</sup> カミキリ	○								EN	CR+EN								宮城野区	
46		ハムシ	オオルリハムシ	○							NT	NT								七ヶ浜町		
47		ゾ <sup>ウ</sup> ムシ	ハマベ <sup>ゾ</sup> ウムシ	○								NT								七ヶ浜町		
48	ハチ	ツチバチ	オオモンツチバチ	○								NT								七ヶ浜町		
49		ヘ <sup>ッ</sup> コウハ <sup>チ</sup>	アカコ <sup>シ</sup> ヘ <sup>ッ</sup> コウ	○								NT									七ヶ浜町	
50			ムツボ <sup>シ</sup> ヘ <sup>ッ</sup> コウ					○				NT							B		蒲生海岸	
51			キスジ <sup>ク</sup> モバ <sup>チ</sup>	○								NT (キスジ <sup>ヘ</sup> ッコウ)									七ヶ浜町	
52			チシマシロフクモバ <sup>チ</sup>	○								NT (チシマシロフクモバ <sup>チ</sup> )									七ヶ浜町	
53			ハイロクモバ <sup>チ</sup>	○								NT (ハイロクモバ <sup>チ</sup> )									七ヶ浜町	
54			キンク <sup>チ</sup> バチ	クロケラトリバチ	○							DD									多賀城市	
55			アナバ <sup>チ</sup>	ニッボ <sup>ン</sup> ハナダ <sup>カ</sup> バ <sup>チ</sup>	○				○			VU	VU						B		仙台市宮城野区、蒲生海岸	
56				アシシ <sup>ロ</sup> ヨコハ <sup>イ</sup> バ <sup>チ</sup>	○							NT									七ヶ浜町	
57				キアシマエダ <sup>テ</sup> バ <sup>チ</sup>	○							DD									宮城野区	
58			キスジ <sup>ツ</sup> チスカ <sup>リ</sup>	○				○			VU	1						B		仙台市宮城野区、蒲生海岸		
59		ムカシハナバ <sup>チ</sup>	ホリメンハナバ <sup>チ</sup>	○							CR+EN									蒲生干潟砂丘、七北田川河口南の砂浜		
60			ノリメンハナバ <sup>チ</sup>	○							CR+EN (ノリメンハナバ <sup>チ</sup> )									蒲生干潟砂浜		
61		ハキリバ <sup>チ</sup>	キヌゲ <sup>ハ</sup> キリバ <sup>チ</sup>	○				○			VU	1						B		七ヶ浜町、蒲生海岸		
62	チョウ	メイカ <sup>ク</sup>	ツチイロツカ <sup>ク</sup>	○				○			DD									七ヶ浜町、要害浦、阿川沼		
63		アゲ <sup>ハ</sup> チョウ	シ <sup>キ</sup> コリアゲ <sup>ハ</sup>					○				1		C	B							
64			アオシ <sup>ア</sup> ゲ <sup>ハ</sup>					○	○				4			*	*		○	○	仙台市宮城野区蒲生海岸	

表 4.4-7 (3) 注目すべき動物 [昆虫類]

No.	目名	科名	種名	文献						文化財	種の保存法	環境省 R1	宮城県 R2	重要種選定根拠										分布地
				①	②	③	④	⑤	⑥					仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書										
														学術上 需要種	山地 地域	西部 丘陵地 ・田園 地域	市街地 地域	東部 田園 地域	海浜 地域	減少種		環境 指標種	ふれあい 保全種	
65	チョウ	アカハチョウ	ヒメグフチョウ	○				○			NT (ヒメグフチョウ 本州亜種)	NT (ヒメグフチョウ 本州亜種)	1							C	B			B
66		シロチョウ	ヒメシロチョウ					○			EN	CR+EN	EX	EX	EX	EX	EX							
67		シジミチョウ	クロシジミ					○			EN	CR+EN	1		A	A								
68		タテハチョウ	オウゴンシロウメシ					○			CR	EX	EX	EX	EX	EX	EX							
69			オオムササビ					○	○		NT		1		C	B	B		○	○				
70		ジヤノメチョウ	ツマシロウメシ 本州亜種					○					1		C	B								
71			ジヤノメチョウ					○							C	C	C		○					
72		トクカ	フタホシトクカ					○				NT		1		C								
73		ヤカ	ゴシロシタハ					○			NT	VU	1	A		A								
合計		8目40科73種		24	0	2	1	52	14	0	0	20	46	29	5	38	34	25	12	23	17	—		

注) 使用した文献は以下のとおりである。

- ① 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」(平成28年、宮城県)
- ② 「宮城県の甲虫」(平成元年、日本鞘翅学会)
- ③ 「宮城県昆虫分布資料 1、3～7、11～16」(平成元年～平成14年、座間 彰)
- ④ 「宮城県蛾類目録」(平成21年、宮城昆虫地理研究会)
- ⑤ 「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年、仙台市)
- ⑥ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年、宮城県)

#### 4.4.2 注目すべき動物の生息地の状況

「平成 22 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 23 年、仙台市）では、表 4.3-4 に示す選定基準により「動物の生息地として重要な地域」を選定している。

また、「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（平成 28 年、宮城県）では、特に自然景観が優れ生物生息場所として貴重な場所であり希少な種の生息場となっている干潟を「重要な干潟」として選定している。

調査範囲における動物の生息地として重要な地域は、表 4.4-8、表 4.4-9 及び図 4.4-1 に示すとおりである。調査範囲においては、七北田川（中流域～河口）、蒲生干潟等の動物の注目すべき生息地が存在する。

なお、計画地にはこれらの生息地は存在しない。

表 4.4-8 動物の生息地として重要な地域

No.	件名	概要
1	七北田川 （中流域～河口）	川に接する地域の環境変化が著しく、動物の生息環境・移動経路としての重要性がとて大きくなってきている。
2	荒井の大沼	マガン、その他水鳥の渡来地。
3	低地の水田地帯	セッカの繁殖、ホオアカの繁殖。居久根は低地における鳥類の生息地及び移動のための中継地として重要。
4	蒲生干潟	シギ・チドリ類の渡りの中継地。コクガン渡来地。
5	仙台湾海浜	海岸林も含めて動物の生息及び移動経路として極めて重要になってきた。また、ヤマトマダラバッタ等の海浜性昆虫が生息。
6	貞山運河	多様な潮間帯動物が生息。

注) No. は図 4.4-1 の図中番号に対応する。

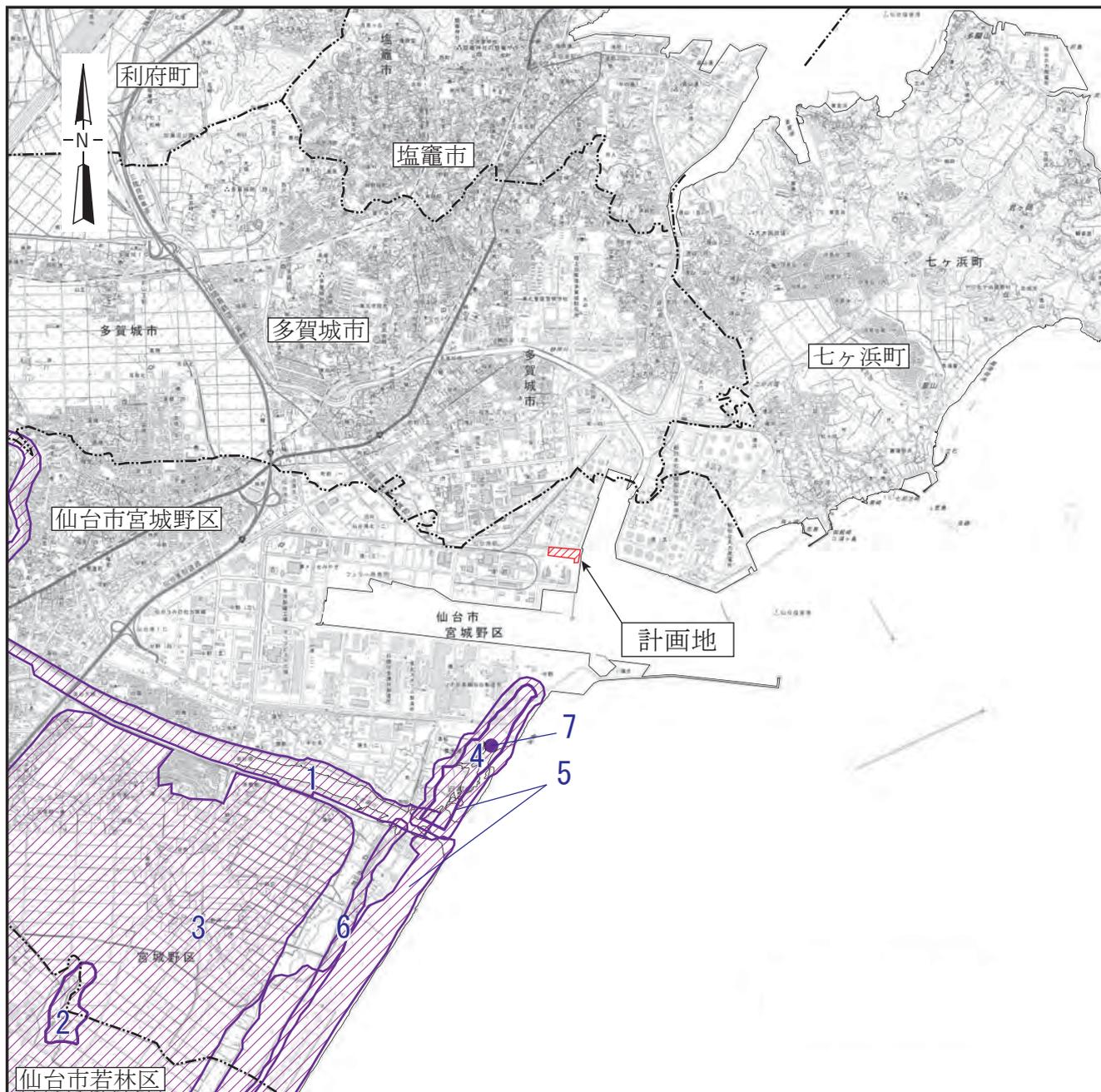
〔「平成 22 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 23 年、仙台市）より作成〕

表 4.4-9 注目すべき生息地

No.	件名	位置	概要
7	重要な干潟 「蒲生干潟」	仙台市宮城野区蒲生高松	周囲にはヨシ原が広がり、渡り鳥が多く飛来することで知られて市民の憩いの場として親しまれていた。震災によりヨシ原のほとんどが消滅し、潟湖の面積も減少したが、ヨシ原の数か所で芽吹きが見られるなど回復が待たれる。

注) No. は図 4.4-1 の図中番号に対応する。

〔「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物」（平成 28 年、宮城県）より作成〕



凡 例

-  計画地
-  動物の生息地として重要な地域
-  重要な干潟

〔平成 22 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書〕（平成 23 年、仙台市）  
 〔宮城県県の絶滅のおそれのある野生動植物〕（平成 28 年、宮城県）より作成

注) 図中番号は表4.4-8及び表4.4-9のNo. に対応する。

図4.4-1 動物の生息地として重要な地域の位置図

#### 4.4.3 その他事業の立地上配慮を要する動物

「新仙台火力発電所リプレース計画環境影響評価書」(平成 23 年、東北電力株式会社)によれば、計画地より 1km 離れた新仙台火力発電所内の煙突でハヤブサの営巣が確認されており、平成 19 年には繁殖に成功、平成 20 年には繁殖行動が確認されている。

また、「新仙台火力発電所リプレース計画に係る事後調査報告書(第 1 回)」(平成 27 年、東北電力株式会社)によれば、平成 24 年から平成 26 年にかけて、発電所内の煙突でハヤブサの営巣、飛翔等の行動が確認されている。